

東京放射線

Tokyo Association of Radiological Technologists

2023年

6月号

Vol.70 No.817

総会特集号

巻頭言

一年を振り返って 宇津野俊充

会 告

公益社団法人東京都診療放射線技師会 第75回定期総会
第71回きめこまかな生涯教育

お知らせ

2023年度第1地区研修会

総会資料

公益社団法人東京都診療放射線技師会 第75回定期総会資料

- | | |
|-------|----------------|
| 報 告 | ・2023年度事業計画 |
| 報 告 | ・2023年度予算 |
| 第1号議案 | ・2022年度事業報告（案） |
| 第2号議案 | ・2022年度決算報告（案） |
| | ・2022年度監査報告 |
| 第3号議案 | ・定款改正（案） |



公益社団法人東京都診療放射線技師会
<https://www.tart.jp/>

目 次

スローガン

チーム医療を推進し、
国民及び世界に貢献する
診療放射線技師の育成

診療放射線技師業務標準化宣言	2
巻頭言 一年を振り返って	3
会告1 公益社団法人東京都診療放射線技師会 第75回定期総会	4
会告2 第71回きめこまかな生涯教育	5
会告3 2023年度城東支部研修会	6
会告4 第21回サマーセミナー	7
お知らせ1 2023年度第1地区研修会	8
お知らせ2 2023年度第8地区研修会	9
公益社団法人東京都診療放射線技師会 第75回定期総会資料	
報 告 ・2023年度事業計画	10
I. 総括	
II. 定款に基づく本会の事業	
III. 委員会事業計画	
報 告 ・2023年度予算	23
第1号議案 ・2022年度事業報告（案）	25
I. 総括	
II. 事業報告	
III. 活動報告	
IV. 活動報告（庶務概要）	
第2号議案 ・2022年度決算報告（案）	43
・2022年度監査報告	52
第3号議案 ・定款改正（案）	53
報 告 ソウル特別市放射線士会学術大会 参加報告	高橋雄大 57
パイプライン	
・2023年度関東甲信越診療放射線技師学術大会	59
・中央医療技術専門学校同窓会総会のお知らせ	60
・日本医用画像管理学会セミナーのお知らせ	61
・日本診療放射線技師連盟ニュース（2023 No.4）	62
2023年4月期会員動向	63
2023年度第1回理事会報告	64
<hr/>	
Column & Information	
・学術講演会・研修会等の開催予定	67

診療放射線技師 業務標準化宣言

いま我が国では「安心で安全な医療の提供」が国民から求められている。そして厚生医療の基本である「医療の質の向上」に向けて全ての医療職種が参加し、恒常的に活動をする必要がある。

私達が携わる放射線技術及び医用画像技術を含む診療放射線技師業務全般についても、国民から信頼される普遍的な安全技術を用いて、公開しなくてはならない。そして近年、グローバルスタンダードの潮流として、EBM (Evidence Based Medicine)、インフォームドコンセント、リスクマネジメント、医療文化の醸成、地球環境保全なども重要な社会的要項となっている。

公益社団法人東京都診療放射線技師会では、『国民から信頼され選ばれる医療』の一員を目指し、診療放射線技師の役割を明確にするとともに、各種業務の標準化システム構築を宣言する。

診療放射線技師業務標準化には以下の項目が含まれるものとする。

1. ペイシェントケア
2. 技術、知識の利用
3. 被ばく管理（最適化／低減）
4. 品質管理
5. 機器管理（始終業点検／保守／メンテナンス）
6. 個人情報管理（守秘／保護／保管）
7. 教育（日常教育／訓練／生涯教育）
8. リスクマネジメント
 - ～患者識別
 - ～事故防止
 - ～感染防止
 - ～災害時対応
9. 環境マネジメント（地球環境保全）
10. 評価システムの構築

公益社団法人東京都診療放射線技師会

卷頭言



一年を振り返って

業務執行理事 宇津野 俊充

日頃より東京都診療放射線技師会の活動にご理解ご協力賜り誠にありがとうございます。2022年6月より東京都診療放射線技師会の理事を拝命し早1年が経過致しました。庶務担当としての業務は公文書管理、会員データベース管理、会員動向調査が主となります。今回、1年間会務を行ってきた中で、各部署がどのようなことを行っているのか、私目線で振り返って紹介させていただきたいと思います。

まず、本会は公益社団法人「公益事業を主な目的として活動している法人」であり、「不特定かつ多数の者の利益」となるよう診療放射線技師と都民の皆さまのために事業活動を行っています。理事会は江田会長（代表理事）を中心として、副会長（理事）や各理事達で構成され、委員会は専門部委員会、支部・地区委員会、特別委員会で構成されています。

専門部委員会について説明致しますと、総務委員会は全体的なスケジュール管理、議事録などの資料作成、その他の会務全般を行っています。渉外委員会は主に叙勳推薦、特別功労賞等の表彰者取りまとめ、本会活動へご尽力いただいた方への感謝を形にする業務を行っています。編集委員会は主に会誌発行に関する業務を行っており、毎月発行する会誌に関して校正や内容の企画立案、情報発信を行っています。学術委員会は日暮里塾ワンコインセミナーをはじめサマーセミナー、ウインターセミナーやペイシエントケア学術大会など会員の知識向上のため業務を行っています。教育委員会はフレッシャーズセミナーや日暮里塾ワンコインセミナーの開催を行うことで、特に新人教育、基礎知識の習得に加えエチケット・マナーなども習得できるようセミナーの企画・運営を行っています。広報委員会は広報活動を主とし、健康フェスティバル、練馬まつり、OTAふれあいフェスタなどの行政イベントに参加し、被ばく相談や骨密度測定など放射線に関する広報活動を行っています。OTAふれあいフェスタに参加させていただきましたが、担当されている委員の皆さまが積極的に都民の方と触れ合い、まさに公益事業を行っていることを実感したのを覚えています。厚生調査委員会は各種アンケート調査や「ちいさなボランティア活動」と称した使用済み切手収集によるボランティア活動、ボーリング大会などを開催することで会員同士の交流を深める事業を行っています。情報委員会は主にホームページの管理・更新作業を行っており、本会での情報発信の中核を担っています。SR推進委員会は主に災害対策に関する内容についての調査やセミナーを企画・開催しています。経理委員会は言葉の通り皆さまからの会費をもとに各事業のお金の管理を行っています。

支部・地区委員会は5つの支部・16の地区で構成された委員会で活動を行っており、清掃活動や各種研修会の開催など、積極的に活動されています。

特別委員会としては主に表彰者について検討を行う表彰委員会、定款などの見直しを行う定款諸規程等検討委員会、一般の方からの被ばくの質問に対して親切、丁寧に返答を行う放射線相談委員会があります。また、独立委員会としては選挙管理委員会、総会運営委員会があり、選挙、総会時に活動を行っています。

頭の整理の意味も込めて各委員等の説明をさせていただきましたが、多くの方に多岐にわたる活動を行っていたいというおかけで本会が運営されているのを再確認致しました。改めて関係者の皆さまに感謝申し上げます。

私自身あっという間の一年間でしたが東京都診療放射線技師会の業務を通して勉強させていただき、何よりさまざまな方と交流を行うことができたのがとても良い経験となりました。本年度も一つ一つ業務をこなしてまいりたいと思いますので、何卒ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。

最後になりますが、今月17日には第75回定期総会が一橋大学一橋講堂で開催予定となっております。3年ぶり、私自身初めての対面での総会開催となります。代議員の皆さまと意見を交換できることを楽しみにしております。

会 告

1

公益社団法人東京都診療放射線技師会 第75回定期総会

公益社団法人東京都診療放射線技師会定款及び規程に則り、下記のように定期総会を開催致します。

記

開催日時：2023年6月17日（土）14時00分～

会場：一橋大学 一橋講堂

東京都千代田区一ツ橋2-1-2

アクセス：東京メトロ半蔵門線、都営三田線、都営新宿線

神保町駅（A8・A9出口）徒歩4分

東京メトロ東西線 竹橋駅（1b出口）徒歩4分

総会次第

報告告：2023年度事業計画

I. 総括

II. 定款に基づく本会の事業

III. 委員会事業計画

報告告：2023年度予算

第1号議案：2022年度事業報告（案）

I. 総括

II. 事業報告

III. 活動報告

IV. 活動報告（庶務概要）

第2号議案：2022年度決算報告（案）

：2022年度監査報告

第3号議案：定款改正（案）

*代議員の皆さまのスケジュール調整をお願い致します。

*会員の皆さまも会場にて傍聴が可能です。

以上

公益社団法人東京都診療放射線技師会
会長 江田 哲男

第71回きめこまかな生涯教育

テーマ「放射線計測学に必要な統計と不確かさの考え方」 ～基礎から実践～

講師：群馬県立県民健康科学大学 診療放射線学部 診療放射線学科 助教 津野 隼人 氏

第71回きめこまかな生涯教育は、東京都診療放射線技師会研修センターにて対面形式で開催致します。テーマは「放射線計測学に必要な統計と不確かさの考え方」についてです。皆さんも実験を行う中で計測結果が少しずつ異なるといった経験から、「ばらつき」の取り扱いについて困ったことはないでしょうか。この分かりづらい「統計」や「不確かさ」について基礎から実践まで分かりやすく解説していただきます。ぜひ参加をお願い致します。

参加費については、当日研修センター受付にて徴収致します。参加者の皆さまが安心して参加できるよう、感染予防対策を講じて開催致しますのでご協力をお願いします。

※今回はパソコンを使用する演習はございません。

記

日 時：2023年7月1日（土）15時00分～17時00分

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505号

受 講 料：会員 2,000円、非会員 10,000円

申込方法：東放技ホームページ (<https://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

定 員：30名（先着順）

カウント付与：日本診療放射線技師会学術研修2.0カウント付与

問い合わせ：学術委員長 市川篤志 E-Mail：gakujitu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

会 告

3

2023年度 城東支部研修会 (Web開催)

テーマ 「Photon counting CTの最新情報」

講師：シーメンスヘルスケア株式会社 鈴木 和明 氏

本年度、城東支部研修会では、新しいタイプのPhoton counting検出器を搭載したCT装置について詳細に解説していただくこととなりました。

ご興味のある方、詳しくお知りになりたい方など、多くの方々のご参加をお待ちしております。

オンラインは、Zoomの利用となります。セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。不正利用などのリスクを回避するために、Zoom最新バージョンをダウンロードの上、ご参加ください。参加人数に上限がありますので早めにお申し込みください。

本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

記

日 時：2023年8月23日（水）19時00分～19時45分

開催方法：Web開催（Zoom）

受講料：無料

申込方法：東放技ホームページ（<https://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

申込締切日：8月20日（日）

定員：50名（先着順）

問い合わせ：城東支部 E-Mail：shibu_jyoutou@tart.jp

第1地区委員長 増田祥代（城東支部長）

第2地区委員長 島田 諭

第7地区委員長 富丸佳一

第14地区委員長 宮谷勝巳

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

会告 4

第21回サマーセミナー

テーマ「X線撮影を極める～腕・知識を磨こう～」

本年度のサマーセミナーは、会場型対面形式にて開催を致します。以前より多くの要望がありました、一般撮影とさせていただきます。

テーマは「X線撮影を極める～腕・知識を磨こう～」です。会場のみの開催で、場所は板橋区立文化会館とさせていただきますので、お間違ひのないようお申し込みをお願い致します。

先生方の生のお声を聴きながらぜひ参加をお願い致します。

参加費については、当日会場受付にて徴収致します。参加者の皆さまが安心して参加できるよう、感染予防対策を講じて開催致しますのでご協力をお願いします。

～ プログラム～

1. 最新情報	富士フィルムメディカル株式会社	伊藤 大樹 氏
2.撮影の前に～骨・関節を理解する～	国際医療福祉大学	市川 重司 氏
3.上肢撮影～基礎から救急撮影～	東大和病院	鈴木 堅三 氏
4.下肢撮影～基礎から救急撮影～	杏林大学	森 美加 氏
5.椎体撮影～基礎から救急撮影～	武蔵村山病院	森 剛 氏

記

日 時：2023年8月26日（土）15時00分～18時30分

場 所：板橋区立文化会館

〒173-0014 東京都板橋区大山東町51番1号

アクセス：東武東上線「大山」駅 北口 徒歩約3分

都営三田線「板橋区役所前」駅 A3出口 徒歩約7分

受 講 料：会員 1,000円、非会員 5,000円

申込方法：東放技ホームページ (<https://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

定 員：150名（先着順）

カウント付与：日本診療放射線技師会学術研修3.5カウント付与

問い合わせ：学術委員長 市川篤志 E-Mail : gakujitu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX : 03-3806-7724

以上

お知らせ

1

2023年度 第1地区研修会 (Web開催)

テーマ「AltivityによるCTとMRIの進化」

講 師：キヤノンメディカルシステムズ 加藤 英斗 氏
石井 崇倫 氏

2021年キヤノンメディカルシステムズより新AIブランドとして“Altivity”が発表され、これを搭載した装置が国内で稼働しています。“Altivity”とは、診断から治療までの過程全体に対して画質と価値を、AI技術を集約し提供するものとあります。

今回、第1地区研修会では、Altivityについて詳細に、また、実際の現場ではどのように活用されているのかなどを、お二人の講師を迎えて講演いただこうと思います。興味がある、新しい技術について詳細に知りたい！という皆さん、ぜひご参加ください。多くの方々をお待ちしております。

オンラインは、Zoomの利用となります。セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。不正利用などのリスクを回避するために、Zoom最新バージョンをダウンロードの上、ご参加ください。参加人数に上限がありますので早めにお申し込みください。

本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

記

日 時：2023年6月28日（水）19時00分～19時45分

開催方法：Web開催（Zoom）

受講料：無料

申込方法：東放技ホームページ (<https://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

定員：50名（先着順）

申込締切日：6月25日（日）

問い合わせ：第1地区委員長 増田祥代 E-Mail：area01@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

2023年度 第8地区研修会

テーマ「重症頸髄損傷に対する自家骨髓間葉系幹細胞移植療法について」

講 師：東京労災病院 浪岡 隆洋 先生

本年度の第8地区研修会は、2018年12月28日条件および期限付き承認取得（7年）され、2019年5月より保険診療が行われているステミラック注（一般名称：ヒト（自己）骨髓由来間葉系幹細胞）による脊髄損傷の再生医療について学びたいと思います。

第一線でご活躍をされております、東京労災病院の浪岡隆洋先生を講師にお迎えし詳しくお話を伺います。

多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

記

日 時：2023年9月8日（金）19時00分～20時30分

会 場：東邦大学医療センター大森病院 臨床講堂（5号館地下1階）
東京都大田区大森西6-11-1

ア クセス：京浜急行線 梅屋敷駅から徒歩約7分（各駅停車にご乗車ください）

JR蒲田駅からバス約4分（東口2番バス乗り場から「大森駅」行きに乗車「東邦大学」下車）

JR大森駅からバス約12分（東口1番バス乗り場から「蒲田駅」行きに乗車「東邦大学」下車）



【交通のご案内QRコード】



【駐車場のご案内QRコード】

受 講 料：500円

新卒かつ新入会員*、一般ならびに学生 無料

申込方法：東放技ホームページ (<https://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

申込締切日：2023年9月7日（木）

定 員：50名（先着順）

問い合わせ：第8地区委員長 大津元春 E-Mail：area08@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

* 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう。

以上

公益社団法人東京都診療放射線技師会 第75回定期総会資料

2023年度事業計画

I. 総括

2019年から始まった新型コロナウイルス感染症拡大により、国内外で対策に追われ続けてから4年目となる。この感染症拡大にともない、本会の活動も大きな転換を余儀なくされた。大きな転換は、講習会や各委員会等の会議をほぼWeb方式としたことである。この方式を導入したことにより、交通費や会場費等の発生が抑制され、事業の支出が大幅に軽減された。また、各委員にとっては希望する場所で安易に参加できるようになり、以前よりも発言しやすくなったと感じる。今後もこの方式を活用して活発な意見交換を実施する。

地区の活性化を目的に会長・副会長が各地区の委員会に参加させていただき、地区からの意見などを傾聴し、地区の活性化を図っていくと共に地区から得られた意見を今後の事業活動の参考とする。

昨年から開始された「告示研修」については、公益社団法人日本診療放射線技師会と協調し、円滑に告示研修が開催できるように実施し、多くの受講者が受講できるような環境を提供する。

新たに設置される委員会を含めて三つの委員会を中心に事業を展開していく。一つ目の委員会は「放射線相談委員会」を組織的に活動し、一般の方々へ放射線被ばくの相談や知識について啓発する。また、会員には医療放射線被ばく・放射線従事者被ばく等の管理方法についての相談等を実施する。二つ目の委員会は「定款諸規程等検討委員会」を通じて、本会規程の見直しを行い時代に即した規程見直しを実施する。三つ目の委員会は、次年度から2年間の制限付であるが会費削減を実施する。この間に入会促進を目指すため「入会促進委員会」を設置し、入会促進に向けての活動を積極的に実施する。

また、公益目的事業の規模拡大や資産取得資金について検討する。

以下に、2023年度の主な事業計画案を挙げる

1. Webを使用した会議・セミナーの開催
2. 地区の活性化を目的にした地区委員との親睦
3. 告示研修開催に向けての環境作り
4. 放射線相談委員会と状況を共有し、広く東京都民の相談に対応する
5. 時代に即した本会規程等の見直し
6. 入会促進事業を推進するために「入会促進委員会」を設置する
7. 公益目的事業の規模拡大および資産取得資金の積立金についての検討

本会は以上の事業計画に則り、診療放射線技術の発展と安全・安心に医療を東京都民に対し、提供できるための努力を行い公益法人として透明性のある事業活動を行う。役員、会員の皆さんには、一層のご支援と積極的な会務への参画をお願いする次第である。

II. 定款に基づく本会の事業

(目的)

この法人は、診療放射線学の向上発展と放射線障害の防止に関する事業を推進するとともに、東京都における診療放射線技師の職業倫理を高揚することにより、放射線検査・治療技術の質の確保と東京都民の健康および医療、ならびに保健の質の維持発展に寄与することを目的とする。

(事業)

この法人は、前項の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 診療放射線学の向上のための学術及び科学技術の振興、並びに調査研究を目的とする事業
- (2) 放射線医療及び放射線障害防止に関する啓発普及事業
- (3) 放射線関連機器の安全管理を推進する事業
- (4) 医療、公衆衛生に関する関連機関団体との連携協調の促進
- (5) 前各号の主旨を目的とした学術誌の刊行
- (6) その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

1. 診療放射線学の向上のための学術及び科学技術の振興、並びに調査研究を目的とする事業、及び放射線関連機器の安全管理を推進する事業

東京都民、本会会員、診療放射線技師および医療従事者を対象に下記の事業で知識の啓発普及を行います。また診療放射線技師においては、職業倫理を高揚し保健の質の維持発展および公衆衛生の向上に寄与します。この事業を通して、放射線災害や放射線事故に備えて、会員および広く診療放射線技師に対して緊急事態における放射線測定や放射能除去の訓練を常日ごろより行うとともに、東京都民に対する啓発や知識の普及を行います。これらの広報は、本会学術誌やホームページを通じて公表します。

1) ペイシエントケア学術大会

開催時期：5月

開催場所：日暮里サニーホールまたは東京都内のイベントホール

主 催：公益社団法人東京都診療放射線技師会

後 援：東京都および開催場所の市または区

実施内容：ペイシエントケアをテーマに患者医療に関する公開講演会およびシンポジウムを実施します。

2) サマーセミナー

開催時期：8月

開催場所：東京都内のイベントホールまたは大学病院の講堂など

主 催：公益社団法人東京都診療放射線技師会

実施内容：最新の診療放射線機器の情報提供を機器メーカー側とユーザーである会員側から、それぞれの立場で講演を行います。また、疾患や臨床研究など幅広い分野からテーマをきめ基礎から応用まで分かりやすく講演を行います。

3) ウィンターセミナー

開催時期：1月

開催場所：東京都内のイベントホールまたは大学病院の講堂など

主 催：公益社団法人東京都診療放射線技師会

実施内容：最新の診療放射線機器の情報提供を機器メーカー側とユーザーである会員側から、それぞれの立場で講演を行います。また、疾患や臨床研究など幅広い分野からテーマをきめ基礎から応用まで分かりやすく講演を行います。

4) メディカルマネジメント研修会

開催時期：1月

開催場所：東京都内のイベントホールまたは大学病院の講堂など

主 催：公益社団法人東京都診療放射線技師会

実施内容：診療放射線技師をはじめ医療職の管理職を対象に危機管理や経営学をはじめ、各業界から専門家を招いて研修を行います。

5) 合同学術講演会

開催時期：10月

開催場所：東京都内のイベントホールまたは大学病院の講堂など

主 催：公益社団法人東京都診療放射線技師会・公益社団法人日本放射線技術学会東京支部

実施内容：東京都内の診療放射線技師が所属する2団体での合同企画であり、講師に診療放射線技師はもとより、医師、看護師をはじめとしたメディカルスタッフ分野の専門家、および有識者を招きます。

6) 日暮里塾ワンコインセミナー

開催回数：年間12回程度（不定期開催）

開催場所：東京都診療放射線技師会研修センターまたは大学病院などの研修施設

主 催：公益社団法人東京都診療放射線技師会

実施内容：診療放射線技師をはじめ、医療職や一般も対象に、放射線技術や患者接遇などに関する研修を行っています。入場制限はありませんが、会場整理費を徴収しています。

参加人数：約50人

7) 支部研修会

開催回数：年間5回程度（不定期開催）

開催場所：東京都診療放射線技師会研修センターまたは大学病院などの研修施設

主 催：公益社団法人東京都診療放射線技師会 各支部

実施内容：診療放射線技師をはじめ、医療職や一般も対象に、放射線技術や患者接遇などに関する研修を行っています。入場制限はありませんが、会場整理費を徴収しています。

参加人数：約50人

8) 地区研修会

開催回数：年間16回程度（不定期開催）

開催場所：東京都診療放射線技師会研修センターまたは大学病院などの研修施設

主 催：公益社団法人東京都診療放射線技師会 各地区

実施内容：診療放射線技師をはじめ、医療職や一般も対象に、放射線技術や患者接遇などに関する研修を行っています。入場制限はありませんが、会場整理費を徴収しています。

参加人数：約50人

9) 診療放射線技師の民間の給与、放射線医療に関する実態調査および各種研修会および講演会にてアンケートを実施し、その動向を調査し、今後の活動に生かす情報取得に努めます。これらの情報は、学術誌やホームページを通じて公表します。

2. 放射線医療及び放射線障害防止に関する啓発普及事業

東京都民を対象に下記の事業にて放射線医療および放射線障害防止の知識の啓発普及を行います。それぞれのイベントでは展示ブースなどを設置し、写真やパネルの展示、パンフレットおよび本会学術誌の配布を行います。また一般参加者からの医療被ばく相談や放射線に関する質問に対しては、会員が応対し、無料で適切なアドバイスを行います。これらの広報は、本会学術誌やホームページを通じて公表します。

1) ピンクリボンウォーク2023

開催時期：4月

開催場所：未定

主 催：認定NPO法人乳房健康研究会

実施内容：放射線検査Q&A、医療被ばく相談、模擬乳房の乳がん触知体験、パンフレット配布、学術誌配布

2) 第21回看護フェスタ2023

開催時期：5月

開催場所：東京都看護協会会館

主 催：公益社団法人東京都看護協会

実施内容：放射線検査Q&A、医療被ばく相談、模擬乳房の乳がん触知体験、パンフレット配布、学術誌配布

- 3) 第46回練馬まつり
開催時期：10月
開催場所：南町小、開進第二中
主 催：練馬まつり事務局、練馬区
実施内容：放射線検査Q&A、医療被ばく相談、模擬乳房の乳がん触知体験、放射線クイズ、パンフレット配布、学術誌配布
- 4) 中央区健康福祉まつり2023
開催時期：10月
開催場所：中央区保健所、福祉センター
主 催：中央区健康福祉まつり実行委員会、中央区、中央区社会福祉協議会
実施内容：放射線検査Q&A、医療被ばく相談、模擬乳房の乳がん触知体験、放射線クイズ、パンフレット配布、学術誌配布
- 5) OTAふれあいフェスタ2023
開催時期：11月
開催場所：ボートレース平和島
主 催：OTAふれあいフェスタ実行委員会、大田区
実施内容：放射線検査Q&A、医療被ばく相談、模擬乳房の乳がん触知体験、骨密度測定、パンフレット配布、学術誌配布
- 6) 第39回東村山市民健康のつどい
開催時期：11月
開催場所：東村山市いきいきプラザ
主 催：市民健康のつどい実行委員会、東村山市
実施内容：放射線検査Q&A、医療被ばく相談、模擬乳房の乳がん触知体験、パンフレット配布、学術誌配布
- 7) 放射線検査や医療被ばくに関する相談への対応
ホームページを利用して一般の方からの放射線検査や医療被ばくに関する質問に適切にアドバイスを行います。
- 8) その他
東京都診療放射線技師会の主催で都民講演会やレントゲン週間イベントの単独開催を計画中。

3. 放射線関連機器の安全管理を推進する事業

東京都民、本会会員、診療放射線技師および医療従事者を対象に放射線関連機器の安全管理の推進を行います。またこれらの広報は、本会学術誌やホームページを通じて公表し、各種セミナーにて、放射線関連機器の安全管理に関する知識の普及を行います。

4. 医療、公衆衛生に関する関連機関団体との連携協調の促進

- 1) 東京都福祉保健局医療政策部と連携を図り、医療従事者ネットワークに参加する医療専門職関連団体との連携を強化し、医療におけるさまざまな諸問題について協議を行い、改善を図ります。
- 2) 公益社団法人日本診療放射線技師会の生涯教育セミナー、臨床実習指導教員、放射線機器管理士および放射線管理士講習会などの事業に協力します。関東甲信越診療放射線技師学術大会を共催し、関東甲信越地域の放射線技師会との連携を図ります。
- 3) 放射線関連団体、医療関連機関、医療関連職能団体との交流を促進します。
- 4) 東京都内の診療放射線技師を養成する大学などと連携し、本会刊行物の無料配布を通じて診療放射線技師が果たす医療の役割を理解していただく啓発活動を行います。

5. 前各項目の主旨を目的とした学術誌の刊行

- 1) 学術誌「東京放射線」の刊行。
月刊誌「東京放射線」を発行し、会員に配布するとともに国立国会図書館、医療関連機関、全国の放射線技師会および診療放射線技師を養成する大学などに寄贈します。またイベントの展示ブースにて、東京都民をはじめ一般の方に広く配布します。

2) 本会の活動に関する図書の刊行。

診療放射線技師および放射線医療に役立つ学術資料を刊行します。

6. その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

1) 診療放射線技師の生涯教育を行います。

診療放射線技師のエキスパートにより、少人数制で専門的で高度な技術を習得し、診療放射線技師の生涯教育の目的で行います。またフレッシャーズセミナー、各種基礎技術講習、告示研修など、公益社団法人日本診療放射線技師会との共催として開催し、技師としての礎を築くことができるようになります。これらを通じて入会促進に努めます。

2) 専門技術および資格の取得に向けた講習会を行います。

他団体と連携を図り、専門技術のさらなる習得と認定技師制度に基づく取得を目的に、きめこまかな生涯教育、MRI集中講習会を開催します。

3) 本会は、定款諸規程および内規に則って運営を行います。この定款諸規程を現状の組織運営に適した修正作業を行います。

4) 組織の活性化、新卒者などの入会促進のための活動を行います。更に雇用の促進と確保に努めます。

5) 会員の中から、叙勲、厚生労働大臣表彰、東京都知事表彰などへの申請を行います。また本会における規程の表彰を行います。

6) 地球環境保全活動の推進のため、地域の清掃活動などに参加します。また禁煙運動を促進し、健康の普及を推進します。

III. 委員会事業計画

2023年度の各委員会の事業計画が次のように企画されています。会員の皆さまのご協力お願いします。なお、日時および詳細につきましては当該委員長にお問い合わせください。

1. 専門部委員会

総務委員会

- ・定款に基づく本会の事業の推進を図る。
- ・委員会を年6回開催する。
- ・総会の準備を行う。
- ・理事会の準備を行う。
- ・中間監査の準備を行う。
- ・期末監査の準備を行う。
- ・新春のつどいの準備を行う。
- ・役員研修会の準備を行う。
- ・役員選挙の準備を行う。

庶務委員会

- ・定款に基づく本会の事業の推進を図る。
- ・委員会を年4回開催する。(不定期)
- ・会員データベースの再構築を目的に、会員一人ひとりの調査を行う。
- ・委員長と委員との情報の共有化に努める。
- ・会員動向の調査を行い、会員維持の方策を検討する。

編集委員会

- ・委員会を年12回開催する。(毎月第2～3週にて会誌の再校・企画)
- ・新連載などの企画検討。
- ・過去の写真データの電子化ならびに管理システムの構築。
- ・会誌進呈先の再検討。
- ・研修会や各種イベントなどへの取材及び会誌への掲載方法の検討。(活性化促進)

学術委員会

- ・定款に基づく本会の事業の推進を図る。
- ・委員会を年12回開催する。(毎月第2水曜日開催予定)
- ・日暮里塾ワシコインセミナーを6回開催する。(学術委員会主幹)
- ・きめこまかな生涯教育を1回開催する。(2023年6月)
- ・サマーセミナー、ウインターフェスティバルを各1回開催する。(2023年8月、2024年1月)
- ・学術大会を開催する。(名称は未定)
- ・合同学術講演会を開催する。(2023年10月、JSRT主幹)
- ・教育委員会と合同での企画を開催する。

教育委員会

- ・定款に基づく本会の事業の推進を図る。
- ・委員会を年12回開催する。(毎月第2水曜日開催予定)
- ・日放技の委託事業(フレッシャーズセミナー(2023年5月・6月)、基礎技術講習(2023年12月))の開催。
- ・教育的な刊行物の発刊や発刊済み刊行物の改訂を検討する。
- ・日暮里塾ワシコインセミナーを6回開催する。(教育委員会主幹)
- ・学術委員会と合同での企画開催。

- ・日放技、技術学会等の包括的な事業協力。
- ・MRI集中講習会の在り方について検討する。
- ・マネージメント講習会を開催する。(2024年1月)

広報委員会

- ・イベントに参加する。
 - ① 4月：ピンクリボンウォーク2023（未定）
 - ② 5月：第21回看護フェスタ（東京都看護協会会館）
 - ③ 10月：第46回練馬まつり（南町小、開進第二中）
 - ④ 10月：中央区健康福祉まつり2023（中央区保健所、福祉センター）
 - ⑤ 11月：OTAふれあいフェスタ2023（ボートレース平和島）
 - ⑥ 11月：第39回東村山市民健康のつどい（東村山市いきいきプラザ）
- 1日開催（ピンクリボンウォーク2023、第21回看護フェスタ、第46回練馬まつり、中央区健康福祉まつり2023）
- 2日間開催（OTAふれあいフェスタ2023、第39回東村山市民健康のつどい）
 - ・物品の貸出を行う。
 - ・配布用ノベルティの作成をする。

厚生調査委員会

- ・定款に基づく本会の事業の推進を図る。
- ・診療放射線業務関係・給与関係・技師会活動関係等のいずれかをテーマに実態アンケート調査を1回行う。
- ・アンケート調査協力への広報活動を行う。
- ・委員会を年10回開催する。また、必要に応じて会議開催を行う。
- ・使用済み切手の収集活動を行う。
- ・災害関係への募金活動を行う。
- ・会員親睦行事を開催する。

情報委員会

- ・ホームページの情報を定期、随時更新
- ・ホームページ保守、管理
- ・ホームページの改修作業
- ・ホームページ使用ニーズに対するシステム変更
- ・ホームページの活用解析
- ・サーバーおよびメーリングリストの保守、管理
- ・情報委員会会議を適宜に開催する
- ・情報委員のスキルアップ勉強会を開催

涉外委員会

- ・表彰委員会開催 2回
- ・涉外委員会開催 適宜
- ・叙勲への推薦
- ・東京都功労者表彰への推薦
- ・小野賞、功労賞等の総会表彰
- ・日放技 永年勤続表彰等への推薦
- ・その他関連団体における表彰への推薦

SR推進委員会

- ・委員会開催（8回程度）
- ・緊急被ばく医療研修会実施
- ・災害対策に関する啓発活動

2. 地区（支部）委員会

第1地区

- ・地区委員会を年11回開催する。
 原則：毎月第3火曜日に開催する。（8月休会）
- ・地区研修会を開催する。
 日時・場所：未定
- ・城東支部研修会を開催する。
 日時・場所：未定
- ・中央区健康福祉まつりに参加する。
 予定：2023年10月下旬頃
- ・地区会員名簿のメンテナンスを行う。
- ・小野賞を選考する。
- ・技師会への入会促進を図る。
- ・技師会行事について、地区会員へ広報を行う。
 ①地区・支部研修会 ②各種研修会・講演会・セミナー ③学術大会（日放技・関東甲信越地域）
 ④新春のつどい等

第2地区

- ・地区（研修会・情報交換会）を開催する。
 予定：令和5年9月 Web形式を中心で検討。
- ・城東支部研修会を開催する。
 予定：未定 Web形式およびハイブリッド形式で検討。
- ・地区委員会を年10回開催する。（原則として第3水曜日）
- ・地区会員名簿のメンテナンスをし、会員入会の呼びかけを行う。
- ・地区委員会連絡網のメンテナンスを行う。
- ・地区会員連絡網のメンテナンスを行う。
- ・中央区健康福祉まつり参加。
 予定：令和5年10月下旬頃
- ・中央区クリーンデー参加。
 予定：令和5年5月下旬頃
- ・技師会行事を地区会員へ積極的に広報・参加呼びかけを行う。
 ①総会 ②地区・支部研修会 ③各種研修会・セミナー ④学術大会（日放技・関東甲信越地域）
 ⑤学術講演会

第3地区

- ・地区（研修会・懇親会）を開催する。
 予定：令和6年2月頃に開催する
- ・支部研修会を開催する。
 予定：令和5年10月頃に開催する
- ・地区委員会を年12回開催する。（毎月第3木曜日開催原則）
- ・未入会者への入会促進。（告示研修受講促進を機会に地区委員の施設から積極的に推進）
- ・地区会員名簿をメンテナンスしてメーリングリストの提案を行う。
- ・施設間の情報共有の機会の場を拡大する。（病院機能評価、立入検査、特定機能検査、医療放射線管理、タスクシェア・シフト等）
- ・技師会行事を地区会員へ積極的に参加呼びかけを行う。
 ①総会 ②学術研修会 ③きめこまかな生涯教育 ④NOC ⑤学術大会（日放技・関東甲信越地域）
 ⑥学術講演会 ⑦看護フェスタ ⑧新春のつどい等
- ・小野賞を選考する。

第4地区

- ・地区研修会（参加者オープン）の開催。（2023年9月予定）
- ・地区若手技師交流会（第4地区限定）を開催。（2024年2月予定）
- ・地区委員会を年8回以上開催。
(原則 理事会開催月 第3木曜日に開催し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を鑑みて対面・Web・メール会議にて開催)
- ・入会促進および未納退会会員減少に務める。
- ・診療放射線技師法改正に伴う告示研修について地区会員に周知し、積極的な参加を促す。
- ・地区委員会未参加施設への地区委員会への参画を促し、次期地区委員候補探しを行うとともに、地区委員メンバーの活性化を図る。
- ・小野賞の選考。
- ・城南支部の地区（第4・8・11・15地区）間の連携を強化する。
- ・城南支部研修会への協力を行う。
- ・OTAふれあいフェスタ2023への参加協力。
- ・日本診療放射線技師会および東京都診療放射線技師会の行事について地区会員へ積極的に参加を呼びかけ、参加率の向上を目指す。

第5地区

- ・地区（研修会・情報交換会）を開催する。
予定：第5地区研修会を開催する。令和6年2月頃
- ・支部学術研修会を開催する。
予定：城北支部研修会を開催する。令和5年10月頃
- ・地区委員会を年11回開催する。
- ・パンフレット（東放見聞五録／5地区だより）を配布し、積極的に会員との情報共有と活性化を図る。
- ・地区行事に参加した非会員にパンフレットを配布し、入会促進を図る。
- ・地区会員名簿の確認と更新を行う。
- ・小野賞を選考する。
- ・荒川クリーンエイド活動などに参加し、社会貢献と環境保全を促進する。
- ・東京都診療放射線技師会行事を地区会員へ呼びかけ参加を促進する。
①総会 ②学術・教育企画 ③学術大会（日放技・関東甲信越地域） ④学術講演会
⑤スポーツ大会 ⑥新春のつどい等

第6地区

- ・地区研修会を開催する。
予定：3月
- ・支部研修会を開催する。
予定：10月
- ・地区委員会を年12回開催する。（毎月第3木曜日開催原則）
- ・必要に応じてその都度、臨時の地区委員会を開催する。
- ・未入会者には積極的に入会促進を図る。
- ・地区会員名簿の更新を行う。
- ・地区委員会名簿の確認作業と更新を行う。
- ・小野賞を選考し推薦する。
- ・診療放射線技師法改正による統一講習会や告示研修への参加を呼びかける。
- ・技師会行事を地区会員へ積極的に参加呼びかけを行う。
①学術研修会 ②学術大会（日放技・関東甲信越地域など）
③学術講演会

第7地区

- ・地区委員会を開催する。
　予定：8月を除いた11回（奇数月は対面もしくはZoom会議とする）
- ・支部学術研修会を開催する。
　予定：感染状況を踏まえ開催予定
- ・中央区健康福祉まつりに参加する。
　予定：例年10月開催（感染状況により開催しない場合あり）
- ・未入会者には積極的にパンフレットを郵送し、また電話・メール等で積極的に入会促進を図る。
- ・地区会員名簿のメンテナンスを行う。
- ・小野賞を選考する。
- ・技師会行事を地区会員へ積極的に参加呼びかけを行う。
　①学術研修会 ②学術大会（日放技・関東甲信越地域など）
　③学術講演会
- ・新入会者に対し積極的に地区紹介を実施する。
- ・地区施設に対して第7地区の活動を広報していく。

第8地区

- ・地区研修会を開催する。　　予定：2月（新型コロナ感染状況による）
- ・地区情報交換会を開催する。　予定：9月（新型コロナ感染状況による）
- ・地区委員会を年8回以上開催する。
(理事会月 第2木曜日開催原則 メール会議もあり)
- ・入会促進を進めると共に未納退会会員を少なくする。
- ・診療放射線技師法改正に伴う告示研修について地区会員に周知し、積極的な参加を促す。
- ・次期地区委員候補を探し、地区委員メンバーの活性化を行う。
- ・小野賞を選考する。
- ・城南支部の地区（第4・8・11・15地区）間の連携を強化する。
- ・城南支部研修会への協力を行う。
- ・OTAふれあいフェスタ2023に参加する。
- ・技師会行事を地区会員へ積極的に参加呼びかけを行い、参加率の向上を目指す。
　①学術研修会 ②ワンコインセミナー ③学術大会（日放技・関東甲信越地域）
　④学術講演会等

第9地区

- ・情報交換会と地区研修会を開催する：2023年9月/24年2月予定（社会情勢を考慮しWeb利用も検討）
- ・城西支部研修会を開催する：開催時期未定
- ・城西支部各地区との連携を強めていく。
- ・地区委員会を年10回開催する。（社会情勢を考慮しWeb利用も検討）
- ・積極的に入会促進を図り退会会員を減らす努力をする。
- ・技師会行事を地区会員へ積極的に参加呼びかけを行い参加率の向上を目指す。
　①学術大会（日放技・関東甲信越地域）②学術講演会 ③学術研修会
　④きめこまかな生涯教育・ワンコインセミナー ⑤新春のつどい等
- ・地区会員名簿のメンテナンスを行う。
- ・地区委員会および地区委員連絡網のメンテナンスを行う。
- ・小野賞を選考する。

第10地区

- ・地区（研修会・懇親会）を開催する。
　予定：令和5年6月頃
- ・地区委員会を年10回開催する。
- ・地区会員名簿のメンテナンスを行う。

- ・地区委員会連絡網のメンテナンスを行う。
- ・小野賞を選考する。
- ・技師会行事を地区会員へ積極的に参加呼びかけを行う。
 ①学術大会 ②総会 ③研修会 ④統一講習会 ⑤告示研修

第11地区

- ・地区学術研修会を開催する。
 予定：10月頃
- ・地区委員会を毎月開催する。（メール会議を含む）
- ・未入会者には積極的に入会促進を図る。
- ・地区会員名簿のメンテナンスを行う。
- ・地区委員会連絡網のメンテナンスを行う。
- ・小野賞を選考する。
- ・技師会行事を地区会員へ積極的に参加呼びかけを行う。
 ①予算総会 ②決算総会 ③告示研修会 ④学術研修会 ⑤学術大会（日放技・関東甲信越地域）
 ⑥学術講演会 ⑦新春のつどい等

第12地区

- ・地区研修会を開催する。（社会情勢を考慮し、開催方法を調整する）
 会員にはハガキやHPを利用して参加を促進する。
 予定：2024年2月
- ・支部研修会を開催する。（第13地区と合同で行う）
 予定：2024年3月
- ・地区委員会を年6回開催する。（開催日はその都度日程調整する）
- ・地区会員名簿のメンテナンスを行うと同時に会員入会を促進するとともに、第12地区の会費未納者を減少させる。
- ・小野賞を選考する。
- ・技師会行事を地区会員へ積極的に参加呼びかけを行う。
 ①総会 ②各研修会 ③きめこまかな生涯教育 ④各学術大会（日放技・関東甲信越地域）
 ⑤レクリエーション ⑥新春のつどい等
- ・第12地区ホームページの更新・メンテナンスを定期的に行う。

第13地区

- ・地区委員会はWeb会議を中心とするが、メール会議も併用し毎月1回開催する。（情勢を見て集合型の地区委員会開催を考える）
 →理事会報告・情報共有・拡散の徹底。
- ・支部研修会を開催する。（第12地区と合同で行う）
 （2023年度は2024年3月に第12地区が中心となり開催予定）
- ・地区研修会を開催する。（目標年2回の開催）
 →Web中心での研修会開催を検討。
 →最低年1回開催を目標に年度計画を進める。
 （情勢を見て参加型の地区研修会開催を考える）
- ・地区会員名簿を見直すと同時に会員入会を呼びかけていく。
 →長期委嘱の委員から新たな委員への交代を促進。
 →会費未納者への積極的な声掛け、会員数減の抑制。
- ・東放技・日放技主催の研修会などへの参加を促進させる。
 ①総会 ②学術研修会 ③きめこまかな生涯教育 ④学術大会（関東甲信越学術大会）
 ⑤レクリエーションへの参加（広報委員イベント手伝い） ⑥新春のつどい等

第14地区

- ・地区（第14地区のつどい）を開催する。
予定：令和5年8月 開催場所：未定
- ・支部研修会を開催する。
予定：城東支部研修会
予定：令和5年7月
- ・第14地区の施設見学会等未定。
- ・地区委員会を年10回開催する。（第3木曜日を開催日とする）
- ・未入会者への入会促進。
- ・地区会員名簿のメンテナンスを行う。
- ・中央区健康福祉まつりへの参加。
予定：令和5年10月
- ・地区委員への参加を要請する。
- ・技師会行事を地区会員へ積極的に参加呼びかけを行う。
①総会 ②学術研修会 ③きめこまかな生涯教育 ④学術大会（日放技・関東甲信越地域）
⑤学術講演会 ⑥スポーツ大会 ⑦新春のつどい ⑧告示研修

第15地区

- ・城南支部研修会の開催（第4地区）をサポートする。
- ・地区委員会を理事会開催月に行う。（世上によりWeb開催も検討）
- ・地区委員を増員して地区の活性化を図る。
- ・積極的に入会促進をするとともに、未納退会会員の歯止めを行う。
- ・地区会員名簿のメンテナンスを行い、必要な情報伝達の充実を図る。
- ・地区委員会連絡網のメンテナンスを行う。
- ・小野賞を選考する。
- ・城南支部の地区（第4・8・11・15地区）間の連携を強化する。
- ・OTAふれあいフェスタにスタッフとして参加要請をする。
- ・技師会行事を地区会員へ積極的に広報して参加の呼びかけを行う。
①総会 ②学術大会（日放技・関東甲信越地域）③学術研修会 ④きめこまかな生涯教育
⑤親睦行事 ⑥OTAふれあいフェスタ ⑦新春のつどい等

第16地区

- ・地区（研修会・情報交換会）を開催する。
予定：令和6年2月頃
- ・支部研修会を開催する。
予定：令和5年10月頃
- ・地区委員会を年11回開催する。第3木曜日（8月休会）
- ・未入会者には積極的にパンフレットを郵送し、また電話・メール等で積極的に入会促進を図る。
- ・地区会員名簿のメンテナンスを行う。
- ・地区委員会連絡網のメンテナンスを行う。
- ・地区会員連絡網のメンテナンスを行う。
- ・小野賞を選考する。
- ・技師会や各団体が開催する職域向けの行事への参加を、地区会員へ積極的に参加呼びかけを行う。

3. 特別委員会

表彰委員会

- ・表彰規程に基づき叙勲およびその他の団体表彰候補者の選考・審査を行う。
- ・東京都診療放射線技師会 各功労賞候補者および団体の選考・審査を行う。

国際委員会

- ・世界の診療放射線技師の状況を把握するため、ISRRT（世界放射線技師会）やAACRT（アジアオーストラレーシア地域診療放射線技師学術大会）、EACRT（東アジア学術交流大会）の動向などの情報収集を行う。
- ・SRTA（ソウル特別市放射線士会）など、相互学術交流の推進。
- ・国際交流を推進するための情報収集及び準備を行う。
- ・学術交流のための準備を行う。
- ・SRTA学術大会への参加。（派遣演題2演題予定）

入会促進委員会

- ・定款に基づく本会の事業の推進を図るために会員人数の促進を図る。
- ・入会促進イベントの企画・運用方法等の検討を行う。
- ・入会促進に向けて会費見直しの検討を行う。
- ・退会者の減少を図るための企画・検討を実施する。
- ・委員会を年10回開催する。

放射線相談委員会

- ・委員会を開催する。（不定期）
- ・一般人からの医療放射線被ばくに関する疑問や質問に回答する。
- ・診療放射線技師による医療放射線被ばく管理に関する情報収集や相談への対応を行う。

以上

2023年度予算

収支予算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

科 目	公益目的事業会計		収益事業等会計			法 人 計	予 算 合 計 (A)	前 期 予 算 (B)	(参 考) (A-B)	(単位:円)
	体験活動 他	会員のための 生涯教育事業	表彰親睦 相互扶助	共 通	小 計					
I 一般正味財産増減の部										
(1)経常収益										
①受取会員費 正会員受取会員費 賛助会員受取会員費	16,100,000 70,000	460,000 2,000	230,000 1,000	690,000 3,000	6,210,000 27,000	23,000,000 100,000	23,000,000 100,000			
②事業収益 研修会事業収益 親睦会事業収益 出版事業収益	666,666	333,334	2,500,000	333,334 2,500,000		1,000,000 2,500,000	1,000,000 2,500,000			
③受取寄付金 ④受取補助金	30,000				30,000		30,000			
⑤雑収益 受取利息 広告収益 雑収益	500 1,800,000					500 1,800,000 600,000	500 1,800,000 600,000			
経常収益計	18,667,166	1,095,334	2,731,000	3,826,334	6,537,000	29,030,500	29,030,500			
(2)経常費用										
①事業費用										
給料手当 福利厚生費	799,000 125,800 2,559,451	141,000 22,200 244,835	235,000 37,000 1,234,462	376,000 59,200 1,479,297	46,106	1,175,000 185,000 4,038,748	1,175,000 185,000 5,300,857			
会議費 旅費 交通運搬費 通信運搬費 減価償却費	420,606 2,209,796 972,871 1,106,000 236,000	39,448 19,234 7,240 14,000	6,658 19,234 3,619 14,000	19,234 10,859 14,000	14,000	466,712 2,229,030 983,730 1,120,000 236,000	933,422 2,229,030 1,147,686 1,280,000 240,000			
消耗品費 修理費 印刷製本費 光熱水料費	9,193,506 142,200 824,000 176,000 39,500 140,000 249,750	84,531 1,800 1,800 1,800 500 20,000 80,000	73,988 1,800 1,800 1,800 500 20,000 80,000	158,519 1,800 1,800 1,800 500 20,000 80,000	500 500 500 500 20,000 20,000 80,000	9,352,025 144,000 824,000 176,000 40,000 160,000 249,750	8,859,812 160,000 824,000 176,000 56,000 160,000 249,750			
管理費 倉庫使用費 保険料 支払手数料 租税公課	2,000,000 42,000 200,000 296,314 22,029 104,943	18,000 103,686 7,971 3,587	18,000 103,686 7,971 8,990	18,000 103,686 7,971 12,577	18,000 103,686 7,971 12,577	60,000 200,000 400,000 30,000 117,520	60,000 200,000 500,000 50,000 408,067			
慶弔費 広報開催費 研究助成費 原稿料 諸謝金 図書費 雑費	21,859,766	708,032	1,699,717	2,407,749		24,267,515	26,354,624	△ 2,087,109		
事業費計										

科 目	公益目的事業会計		収益事業等会計			法 人 計	予 算 合 計 (A)	前 期 預 算 (B)	差 差 (A-B)
	体験活動 他	会 員 のた め の 生 涯 教 育 事 業	相 扶 助 表 彰 親 眠	共 通	小 計				
②管理費									
役員報酬						1,210,000	210,000	1,175,000	△ 237,891
給料手当						1,175,000	1,175,000	1,175,000	△ 33,290
福利厚生費						185,000	185,000	185,000	
会議費						761,252	999,143	999,143	
旅費交通費						33,288	33,288	66,578	
通信運搬費						170,970	170,970	147,975	△ 7,787
印刷製本費						216,270	216,270	252,314	△ 36,044
減価償却費						280,000	280,000	320,000	△ 40,000
消耗品費						59,000	59,000	60,000	△ 1,000
修繕費						36,000	36,000	40,000	△ 4,000
光熱水料費						206,000	206,000	206,000	
管理費用						44,000	44,000	44,000	
倉庫使用費						10,000	10,000	14,000	△ 4,000
保険料						40,000	40,000	40,000	
支払手数料						200,250	200,250	200,250	
租税公課						20,000	20,000	40,000	△ 20,000
慶弔費						950,000	950,000	950,000	
支払報酬						17,980	17,980	62,433	△ 44,453
雜費									
管理費計						4,762,985	4,762,985	5,175,876	△ 412,891
経常費用計						2,407,749	4,762,985	29,030,500	△ 2,500,000
詳述損益額 整前当期経常増減額						1,774,015			
基 本財産評価損益等									
特 定資産評価損益等									
投 資有価証券評価損益等									
評価損益等計									
△ 3,192,600	387,302	1,031,283							
2. 経常外増減額の部									
(1) 経常外収益									
経常外収益計									
(2) 経常外費用									
経常外費用計									
当期経常外増減額									
他会計帳簿額									
税引前当期一般正味財産増減額	△ 2,719,592	387,302	1,031,283			945,577	1,774,015	1,774,015	
法人税、住民税及び事業税	△ 2,719,592	387,302	1,031,283			945,577	1,774,015	1,774,015	
当期一般正味財産増減額									
一般正味財産期首残高									
II 指定正味財産増減額									
当期指定正味財産期首残高									
III 指定正味財産期末残高									
正味財産期末残高									
△ 2,719,592	387,302	1,031,283							
473,008						△ 473,008			
89,444,862									

第1号議案 2022年度事業報告（案）

I. 総括

2022年度も新型コロナウイルス感染症の対策に追われた一年であった。東京都診療放射線技師会も、感染拡大防止への対応として、本会（地区開催含む）及び日本診療放射線技師会主催の講習会・勉強会等をほぼWeb方式での開催とした。総会も前年度同様、代議員による書面表決方式とせざるをえなかつた。2022年度は通常の定期総会と2月に「会費額の変更に伴う規程の改正」について臨時総会を開催し、承認された。この改正により、2023年度から2年間は新卒、既卒問わず初めて本会へ入会する場合は会費無料となる。また65歳以上の会費減額も実施できるようになり、入会促進および会員継続の環境を2年間ではあるが会員増加への環境づくりを整えることができた。

学術交流協定を結んでいるソウル特別市放射線士会とは2023年3月に本会から4名の会員がSRTA主催の学術大会へ参加し、2演題の学術発表を行った。

「チーム医療」の推進事業としては、2月に一橋講堂にて「接遇の達人をめざして！」をテーマに第17回ペイシェントケア学術大会を対面形式で開催した。本学術大会では、東京都看護協会様、東京都臨床検査技師会様、他団体からもご協力を得て、外国人や耳の不自由な方とのコミュニケーション方法や接遇の在り方について、専門の方々にご講演をいただいた。また、医師の働き方改革、タスク・シフト/シェアを推進するために業務拡大が実施されている施設の実情などについてシンポジウムを実施し、導入にいたるまでの問題点や導入後の問題点、利点などについて意見が交わされ、参加された方々には、ご自分の施設で導入するまでの取り組み方への知識を深める事ができたと考える。本学術大会を企画実施していただいた学術及び教育委員会の方々をはじめ、実行委員の皆さんにあらためて感謝を申し上げる。

診療放射線技師法改正に伴う告示研修や以前から実施している統一講習会については、（公社）日本診療放射線技師会と共に協力しながら精力的に事業を推進させた。本会の優秀なファシリテーターにより、今年度は告示研修が12回開催され、529名の方々が修了している。

学術関係では、サマーセミナーにて「ちょっと教えて！ 乳房撮影検査」をWeb開催し、68名の参加が得られた。また、ウインターセミナーでは「オンコロジー－がん治療について考える－」をテーマに開催した。薬品メーカーおよび各施設から体部領域を「胸部」「腹部」「骨盤」と区分けして、各領域から発症する「がん」について講義が行われた。また、11月には日本放射線技術学会東京支部と合同で「防護と遮蔽をアップデート！」をテーマにして学術大会も開催した。

教育関係では、日本診療放射線技師会と共に「フレッシュヤーズセミナー」を2回開催し、145名の参加があった。

SR（Social Responsibility：社会的責任）活動では、災害対策研修会を3月に放射線部門における災害対策を専門とする著名な4名の講師を招聘してWebにて研修会を実施した。また、「地球環境保全活動」の一環として「中央区クリーンデー」、「荒川クリーンエイド2022」へも参加し、本会地区委員が中心となりボランティア活動へも参加した。

放射線関連の広報活動としては、東京都内で開催された健康フェスティバルへ参加した。その他、各地区・各支部にて定例どおり、本会事業内容に則して研修会を精力的に開催した。

皆さまには本会事業・活動の推進に対し、多大なご理解をいただいたことに感謝申し上げるとともに、新年度も今まで以上に都民・国民・会員のために本会の事業を推進する所存であり、皆さま方のより一層のご支援とご協力をお願いする次第である。

II. 事業報告

1. 診療放射線学の向上のための学術及び科学技術の振興、並びに調査研究を目的とする事業、及び放射線関連機器の安全管理を推進する事業

1) 第17回ペイシェントケア学術大会

開催日時：2023年2月4日（土）10時00分－16時00分

開催場所：一橋大学 一橋講堂（ハイブリッド開催）

大会テーマ：「接遇の達人をめざして」

「患者様のために考える－タスクシフト・シェアの現状と展望－」

講 師：診療放射線技師：東京臨海病院

飯塚 智裕

診療放射線技師：立正佼成会附属佼成病院

首藤 創

看護師：日本医科大学付属病院

小松ひろみ

臨床工学技士：東邦大学医療センター 大橋病院

岡本 裕美

臨床検査技師：日本医科大学千葉北総病院

三橋 太

「外国籍の患者さまの対応」

講 師：順天堂大学

坂野 康昌

「本当にそれでいいのか？接遇についてあらためて考えてみる」

講 師：静岡医療科学専門大学校

伊藤 光代

「X線検査時の意思疎通の難しさ－多様性の時代だからこそ支援について考える－」

講 師：株式会社アイエスゲート

宮田 充

参加人数：67名（会員61名、非会員6名）

2) 第20回サマーセミナー

開催日時：2022年8月27日（土）16時00分－18時00分

開催場所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター（Web開催）

大会テーマ：「ちょっと教えて！乳房撮影検査」

講 師：乳房撮影装置の現状と展望

キヤノンメディカルシステムズ株式会社

岡野 杏奈

乳房の解剖病理

練馬光が丘病院

橋本 真利

乳房撮影検査のポイントと管理

国立病院機構埼玉病院

皆川 梓

参加人数：68名（会員63名、非会員5名）

3) 第20回ウインターセミナー

開催日時：2023年1月28日（土）15時30分－18時00分

開催場所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター（ハイブリッド開催）

大会テーマ：「オンコロジー－がん治療について考える－」

講 師：オンコロジーについて 小野薬品工業株式会社

神田 和慶

胸部領域のがんについて 順天堂大学医学部附属順天堂医院

稻毛 秀一

腹部領域のがんについて 独立行政法人国立病院機構東京医療センター

比内 晴子

骨盤領域のがんについて 東京医科大学病院

岡本 淳一

参加人数：30名（会員30名）

4) 2022年度診療放射線技師のための「フレッシャーズセミナー」

(1) 診療放射線技師のための「フレッシャーズセミナー」（第133回日暮里塾ワンコインセミナー同時開催）

開催日時：2022年5月15日（日）8時45分－17時00分

開催場所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター（Web開催）

主 催：公益社団法人東京都診療放射線技師会、公益社団法人日本診療放射線技師会

講 師：エチケット・マナー/医療コミュニケーション

東京女子医科大学病院

浅沼 雅康

医療安全対策

済生会中央病院

江田 哲男

感染対策	北里研究所病院	小林 隆幸
被ばく低減	公立昭和病院	圓城寺純至
技師会活動紹介	東京都診療放射線技師会	野口 幸作
	東京都診療放射線技師会	市川 篤志
胸部単純写真	帝京大学医学部附属病院	西郷 洋子
気管支解剖	東京臨海病院	野口 幸作
CT装置・検査の基礎	国際医療福祉大学	長谷川浩章
MRI装置・検査の基礎	東邦大学医療センター大橋病院	皆川 智哉
臨床検査値と画像	日本大学医学部附属板橋病院	比内 聖紀
入会案内	東京都診療放射線技師会	野口 幸作

参加人数：82名（会員6名、非会員76名）

(2) 診療放射線技師のための「フレッシャーズセミナー」(第135回日暮里塾ワンコインセミナー同時開催)

開催日時：2022年6月5日（日）8時45分－17時00分

開催場所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター（Web開催）

主 催：公益社団法人東京都診療放射線技師会、公益社団法人日本診療放射線技師会

講 師：エチケット・マナー/医療コミュニケーション

医療安全対策	国際医療福祉大学	市川 重司
感染対策	公立福生病院	鮎川 幸司
被ばく低減講座	東大和病院	小野 賢太
技師会活動紹介	三郷中央総合病院	閑谷 薫
	東京都診療放射線技師会	野口 幸作
胸部単純写真	東京都診療放射線技師会	市川 篤志
気管支解剖	練馬光が丘病院	小川 茂行
CT装置・検査の基礎	東京医科大学病院	野口 幸作
MRI装置・検査の基礎	公立福生病院	岡本 淳一
臨床検査値と画像	東京医科大学病院	野中 孝志
入会案内	東京都診療放射線技師会	平瀬 繁男

参加人数：63名（会員6名、非会員57名）

5) 第22回（公社）東京都診療放射線技師会・（公社）日本放射線技術学会東京支部合同学術講演会（Web開催）

開催日時：2022年11月5日（土）15時00分－17時00分

開催場所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター（Web開催）

テー マ：防護と遮蔽をアップデート！

講 師：千代田テクノル株式会社

虎の門病院	首藤 妃奈
日本医科大学多摩永山病院	川内 覚
杏林大学 保健学部 診療放射線技術学科	笛沼 和智
	石川 純也

参加人数：53名（会員41名、非会員12名）

6) 日暮里塾ワンコインセミナー

(1) 第132回日暮里塾ワンコインセミナー

開催日時：2022年4月27日（水）19時00分－19時40分

開催場所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター（Web開催）

テー マ：「ちょっと教えて！ フラットパネル－基本的な構造から画像処理まで－」

講 師：富士フィルムメディカル株式会社 営業本部

坂本 真俊

参加人数：85名（会員76名、非会員9名）

(2) 第133回日暮里塾ワンコインセミナー（フレッシャーズセミナー同時開催）

開催日時：2022年5月15日（日）8時45分－17時00分

開催場所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター（Web開催）

講 師：2022年度診療放射線技師のための「フレッシャーズセミナー」に記載

参加人数：82名（会員6名、非会員76名）

(3) 第134回日暮里塾ワンコインセミナー

開催日時：2022年5月24日（火）19時00分－19時40分

開催場所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター（Web開催）

テー マ：「放射線遮蔽ガラスは水拭きしてもいいの？ 基本的な構造から管理まで」

講 師：電気硝子建材株式会社

大西 秀樹

参加人数：71名（会員66名、非会員5名）

(4) 第135回日暮里塾ワンコインセミナー（フレッシャーズセミナー同時開催）

開催日時：2022年6月5日（日）8時45分－17時00分

開催場所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター（Web開催）

講 師：2022年度診療放射線技師のための「フレッシャーズセミナー」に記載

参加人数：63名（会員6名、非会員57名）

(5) 第136回日暮里塾ワンコインセミナー

開催日時：2022年6月7日（火）19時00分－19時40分

開催場所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター（Web開催）

テー マ：「骨密度検査の基礎知識と最新情報」

講 師：東洋メディック株式会社 営業本部

大越 陽介

参加人数：80名（会員76名、非会員4名）

(6) 第137回日暮里塾ワンコインセミナー

開催日時：2022年7月14日（木）19時00分－19時40分

開催場所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター（Web開催）

テー マ：「インジェクターの安全使用について 医療安全について考える」

講 師：株式会社 根本杏林堂 営業本部

植村 聰

参加人数：57名（会員51名、非会員6名）

(7) 第138回日暮里塾ワンコインセミナー

開催日時：2022年8月2日（火）19時00分－19時40分

開催場所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター（Web開催）

テー マ：「その時どうする？ アナフィラキシーの対応」

講 師：富士製薬工業株式会社 営業部

吉村 大輝

参加人数：68名（会員63名、非会員5名）

(8) 第139回日暮里塾ワンコインセミナー

開催日時：2022年9月2日（金）19時00分－19時40分

開催場所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター（Web開催）

テー マ：「最新CT装置に搭載された画質向上の技術と被ばく低減への取り組み」

講 師：キヤノンメディカルシステムズ株式会社

鳥越留美子

参加人数：51名（会員48名、非会員3名）

(9) 第140回日暮里塾ワンコインセミナー

開催日時：2022年10月14日（金）19時00分－19時40分

開催場所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター（Web開催）

テー マ：「難しく考えていませんか？ ワークステーションを使いこなそう！」

講 師：アミン株式会社

松澤 茂樹

参加人数：72名（会員62名、非会員10名）

(10) 第141回日暮里塾ワンコインセミナー

開催日時：2022年11月9日（水）19時00分－19時40分

開催場所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター（Web開催）

テー マ：「FFRctの現状と展望」

講 師：ハートフロー・ジャパン合同会社

中村 俊

参加人数：41名（会員35名、非会員6名）

(11) 第142回日暮里塾ワンコインセミナー

開催日時：2022年12月12日（月）19時00分－19時40分

開催場所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター（Web開催）

テー マ：「ちょっと教えて！ がんゲノム医療について」

講 師：アクトメッド株式会社 営業・マーケティング部

金子 寛樹

参加人数：30名（会員29名、非会員1名）

(12) 第143回日暮里塾ワンコインセミナー

開催日時：2023年1月11日（水）18時30分－20時10分

開催場所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター（Web開催）

テー マ：「学術・教育委員が選んだ発表演題」

講 師：1. ディープラーニングを用いた胸部X線画像病変検出ソフトウェアの初期使用経験
東京医科大学病院 市原 舞衣

2. 当院における撮影線量管理方法について
東京医科大学八王子医療センター 池本 裕貴

3. VSRADを用いたアルツハイマー型認知症診断におけるGANを用いた体動補正の有用性の検討
東京大学医科学研究所附属病院 吉田 宜清

4. Single Energy CTとDual Layer CTの造影CTにおける造影剤量低減の検討
日本大学医学部附属板橋病院 大沼 汐莉

5. レポーティングシステムを活用した多職種チームへの所見報告
医療法人社団明芳会 イムス葛飾ハートセンター 米澤 俊和

6. 前立腺MRIにおける歪み補正法を用いた拡散強調画像の検討
杏林大学医学部付属病院 熊谷 優真

7. 放射線治療患者への栄養食事指導の導入
公立福生病院 土谷 健人

8. スタッフの育成と教育方法の関係についての考察
練馬光が丘病院 上村 亮介

9. 胸部単純X線撮影における妊婦の胎内被ばく線量の推定
昭和大学病院 牧田隆太郎

参加人数：64名（会員62名、非会員2名）

7) 支部研修会

(1) 城東支部研修会

開催日時：2022年9月30日（金）19時00分－20時30分

開催場所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター（Web開催）

テー マ：「診療放射線技師の転職活動について」

講 師：株式会社エス・エム・エス

藤野 昌聰

参加人数：44名（会員41名、非会員3名）

(2) 城西支部研修会

開催日時：2022年11月25日（金）19時00分－20時30分

開催場所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター（Web開催）

テー マ：「タスクシフト－新しい診療放射線技師の姿－」

講 師：静脈注射認定看護師の立場から 東京医科大学病院 冷水 育

当院における静脈穿刺業務の実態 埼玉県済生会川口総合病院 城處 洋輔

告示研修と診療放射線技師会－社会的な必要性－

医療法人社団光仁会 梶川病院 中上 康次

参加人数：50名（会員46名、非会員2名、他職種2名）

(3) 城北支部研修会

開催日時：2022年11月26日（土）19時00分－20時00分

開催場所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター（ハイブリッド開催）

テー マ：「働きやすい職場環境を作るための生命の話－助産師の立場より－」

講 師：助産師 湊 真美
参加人数：29名（会員29名）
(4) 多摩支部研修会
開催日時：2023年3月3日（金）19時00分－20時00分
開催場所：東大和病院（Web開催）
テー マ：「臨床工学技士に聞く 救急医療で使う機器の役割」
講 師：東大和病院 臨床工学科 大野 慶伍
参加人数：54名（会員49名、非会員4名、他職種1名）
(5) 城南支部研修会
開催日時：2023年3月10日（金）19時00分－20時30分
開催場所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター（Web開催）
テー マ：「AI（死亡時画像診断）の現状と今後の展望」
講 師：国際医療福祉大学保健医療学部放射線・情報科学科 横口 清孝
AI情報センター 代表理事 山本 正二
参加人数：70名（会員64名、非会員5名、医師1名）

8) 地区研修会

(1) 第1地区研修会

開催日時：2022年6月23日（木）19時00分－20時30分
開催場所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター（Web開催）
テー マ：「線量管理の各施設の現状」
講 師：済生会川口総合病院 城處 洋輔
参加人数：27名（会員24名、非会員3名）
(2) 第4地区研修会
開催日時：2022年10月5日（水）18時30分－20時00分
開催場所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター（ハイブリッド開催）
テー マ：「若手技師間の交流会：若手技師の施設間での業務に関する話題等で交流を促進と、関心事項の「告示研修」について情報提供講演」
講 師：東京臨海病院 野口 幸作
参加人数：52名（会員30名、非会員17名、新卒・新入会5名）
(3) 第13地区研修会
開催日時：2022年10月12日（水）19時00分－20時30分
開催場所：Web開催
テー マ：「診療放射線技師が関わるタスク・シフト/シェア－診療放射線技師業務拡大のポイントとこれからの対応／診療放射線技師が関わる超音波検査－」
診療放射線技師業務拡大のポイントとこれからの対応
講 師：東京医科大学八王子医療センター 藤村 耕平
診療放射線技師が関わる超音波検査
講 師：東京医科大学八王子医療センター（超音波検査士） 新田 忠弘
参加人数：32名（会員24名、非会員2名、新卒・新入会2名、一般4名）

(4) 第3地区研修会

開催日時：2023年2月3日（金）19時00分－20時30分
開催場所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター（ハイブリッド開催）
テー マ：「学ぼう！脳梗塞－各モダリティのアプローチ－」
脳梗塞に関する基礎概論
講 師：国立がん研究センター東病院 若松 和行
脳梗塞の診断・治療へ貢献するCT検査フロー
講 師：東京女子医科大学病院 橋本 弘幸
脳梗塞MRIの理解とポイント
講 師：慶應義塾大学病院 上田 亮

脳梗塞に対する血管内治療		
講 師：東京医科大学病院	松本 亘	
脳梗塞から学ぶ核医学		
講 師：国立国際医療研究センター病院	齋藤 郁里	
参加人数：79名（会員76名、非会員3名）		
(5) 第4地区研修会		
開催日時：2023年2月8日（水）19時00分－20時15分		
開催場所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター（ハイブリッド開催）		
テ マ：「一般撮影装置の精度管理を学ぼう－X線管球から撮影シーケンスまで－」		
講 師：国際医療福祉大学	市川 重司	
参加人数：78名（会員66名、非会員7名、一般5名）		
(6) 第16地区研修会		
開催日時：2023年2月10日（金）19時00分－20時30分		
開催場所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター（ハイブリッド開催）		
テ マ：「MRIのクエンチと磁性体吸着についての検討－インシデント・アクシデント事例報告－」		
講 師：GEヘルスケア・ジャパン株式会社 MR部モダリティスペシャリスト	吉野 要	
第16地区委員	川島 修一	
第16地区委員	関谷 薫	
参加人数：43名（会員42名、非会員1名）		
(7) 第12地区研修会		
開催日時：2023年2月17日（金）19時00分－20時00分		
開催場所：公立昭和病院（Web開催）		
テ マ：「理学療法士に聞くリハビリと画像診断の関わり－脳卒中患者を中心に－」		
講 師：公立昭和病院 リハビリテーション科 理学療法士	山下 祥紀	
参加人数：67名（会員58名、非会員9名）		
(8) 第5地区研修会		
開催日時：2023年2月22日（水）19時00分－20時00分		
開催場所：東京大学医学部附属病院（Web開催）		
テ マ：「放射線治療 最前線（概論）－放射線科治療医が“ガンガン”教えます－」		
講 師：東京大学医学部附属病院	山下 英臣	
参加人数：48名（会員42名、非会員6名）		
(9) 第9地区研修会		
開催日時：2023年2月28日（火）19時00分－20時30分		
開催場所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター（Web開催）		
テ マ：「新人教育のあれこれ」－大事な初めの一歩 病院ごとの方針と成果－		
講 師：東京都健康長寿医療センター	石田 獻	
日本大学医学部附属板橋病院	照屋 寛人	
帝京大学医学部附属病院	四釜 静帆	
精神医学研究所附属東京武藏野病院	飯塚 雅子	
参加人数：47名（会員42名、非会員5名）		
(10) 第11地区研修会		
開催日時：2023年3月8日（水）19時00分－20時30分		
開催場所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター（Web開催）		
テ マ：「多軸型ロボットCアームを搭載した最新Hybrid ORの動向」		
講 師：杏林大学医学部付属病院	高久 啓志	
シーメンスヘルスケア株式会社	富士溪俊之	
参加人数：39名（会員37名、非会員1名、一般1名）		
(11) 第6地区研修会		
開催日時：2023年3月9日（木）19時00分－20時30分		
開催場所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター（ハイブリッド開催）		

テー マ：「肝エラストグラフィーについて」

「肝エラストグラフィー 超音波編」

講 師：東京臨海病院

藤井 雅代

「肝エラストグラフィー MRI編」

講 師：東京都立大学大学院

畠 純一

参加人数：58名（会員58名）

9) 特別委員会研修会およびサーベイメータ確認校正

(1) 2022年度第1回災害対策研修会

開催日時：2023年3月4日（土）13時00分－17時00分

開催場所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター（Web開催）

テー マ：「災害時の放射線部門対応－経験から備えへ－」

放射線部門のBCP

講 師：熊本大学病院

池田 龍二

放射線部門の災害訓練

講 師：兵庫県災害医療センター

中田 正明

地震発生時の対応

講 師：国立病院機構宮城病院

立石 敏樹

災害支援認定診療放射線技師について

講 師：公益社団法人日本診療放射線技師会

江藤 芳浩

参加人数：53名（会員51名、非会員2名）

(2) 2022年度第2回災害対策研修会

開催日時：2023年3月18日（土）13時00分－16時30分

開催場所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター

テー マ：「緊急被ばく医療研修会－3.11を風化させない－」

講 師：SR推進委員会委員

参加人数：0名（参加者が集まらず開催中止に至った）

10) ボランティア活動（地球環境保全活動）

(1) 中央区クリーンデー（中央区民・事業所による中央区内一斉清掃活動）

開催日時：2022年5月29日（日）9時00分－10時30分

活動場所：中央区保健所周辺

参加人数：14名（会員12名、一般2名）

(2) 地球環境保全活動 荒川河川敷清掃活動「荒川クリーンエイド2022」

開催日時：2022年11月6日（日）10時00分－12時00分

活動場所：荒川岩淵閑緑地

参加人数：14名（会員12名、一般2名）

2. 放射線医療及び放射線障害防止に関する啓発普及事業

各健康フェスティバルに参加出展

(1) ピンクリボンウォーク2022

内 容：東京都民への放射線医療や放射線に関する正しい知識の普及・啓発活動

来 場 者：0名（新型コロナウィルス感染症の感染拡大防止のため開催中止）

(2) 第20回看護フェスタ

日 時：2022年5月14日（土）

会 場：Web開催

内 容：東京都民への放射線医療や放射線に関する正しい知識の普及・啓発活動

来 場 者：0名（Web開催のため不参加）

(3) 第45回練馬まつり

日 時：2022年10月16日（日）10時00分－15時00分
会 場：南町小・開進第二中・練馬総合運動場ほか
内 容：東京都民への放射線医療や放射線に関する正しい知識の普及・啓発活動
来 場 者：133名（会員15名、非会員118名）

(4) 中央区健康福祉まつり2022

日 時：2022年10月23日（日）10時00分－15時00分
会 場：中央区福祉センター・子ども発達支援センター・教育センター・あかつき公園
内 容：東京都民への放射線医療や放射線に関する正しい知識の普及・啓発活動
来 場 者：192名（会員10名、非会員182名）

(5) OTAふれあいフェスタ2022

日 時：2022年11月5日（土）－6日（日）10時00分－16時00分
内 容：東京都民への放射線医療や放射線に関する正しい知識の普及・啓発活動・無料骨密度測定
来 場 者：576名（会員32名、非会員544名）

3. 放射線関連機器の安全管理を推進する事業

日暮里塾ワンコインセミナーにて各種関連メーカーに講演してもらい、放射線関連機器の日常点検などの安全管理に関する知識の普及とフィードバックを行い、もって東京都民の保健衛生向上に寄与した。

4. 医療、公衆衛生に関する関連機関団体との連携協調の促進

本会では関連機器団体との懇親と調和を目的として、“新春のつどい”を毎年開催していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため開催中止とした。

公益社団法人日本診療放射線技師会との連携強調を目的とした基礎技術講習「一般撮影」を例年開催していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため開催中止とした。

公益社団法人日本診療放射線技師会との連携強調を目的とした業務拡大に伴う統一講習会は2023年3月4日（土）および5日（日）に開催した。

5. 図書印刷物の刊行物に関する事業

放射線技術関連学術雑誌「東京放射線」（月刊）を発行し、診療放射線技師・エックス線技師へ有償にて配布、放射線技術・学術の向上ならびに職業倫理の高揚を図った。また、全国の診療放射線技師養成校・放射線関連機関・団体および国立国会図書館ならびに放射線技師教育関係、各都道府県技師会に寄贈した。

誌名「東京放射線」月刊 昭和37年12月13日第三種郵便物認可

発行状況	ページ数	発行年月日
第69巻	第4号（通巻804号）	28
	第5号（通巻805号）	36
	第6号（通巻806号）	68
	第7号（通巻807号）	30
	第8号（通巻808号）	36
	第9号（通巻809号）	40
	第10号（通巻810号）	32
	第11号（通巻811号）	40
	第1号（通巻812号）	44
	第2号（通巻813号）	36
	第3号（通巻814号）	30
第70巻		2022.4.1
		5.1
		6.1
		7.1
		9.1
		10.1
		11.1
		12.1
		2023.1.1
		2.1
		3.1

主な掲載記事

- 1) 卷頭言…………… 11回
- 2) 東放技ニュース…………… 14回
- 3) 定期総会議事録…………… 1回
- 4) 誌上講座「消化管造影検査」…………… 10回
- 5) 学術奨励賞報告…………… 1回
- 6) 学術研修会・きめこまかな生涯教育に関する記事…………… 3回
- 7) 支部・地区活動に関する記事…………… 8回
- 8) 表彰者に関する報告…………… 4回
- 9) 調査アンケートに関する報告…………… 1回
- 10) パイプライン…………… 12回

その他、会員からの寄稿文など多数掲載

主な贈呈先

東京都総務局行政指導課、東京都衛生局医務部医務課、東京都郵政局郵政部事業課第二業務課、国立国会図書館、東京都立大学図書館、東京歯科大学図書館、慶應大学医学情報センター、駒澤大学図書館、株式会社アンダーライン、日本科学技術情報センター、公益社団法人日本診療放射線技師会、公益社団法人日本放射線技術学会、各道府県放射線技師会、全国診療放射線技師養成機関など

6. その他、この法人の目的達成に必要な事業

1) 診療放射線技師の生涯教育

フレッシャーズセミナーの開催および告示研修を開催した。またこれらを通じて入会促進に努めた。

2) 専門技術および資格の取得に向けた講習会

本年度は講師および日程の調整がつかなかったためきめこまかな生涯教育、MRI集中講習会は未開催。

3) 定款諸規程の現状組織運営に適した修正作業

定款諸規程等検討委員会を開催し、修正作業を行った。

4) 組織の活性化、新卒者などの入会促進のための活動、雇用促進と確保

次年度入会促進委員会設置に向けた活動を開始した。また採用情報を掲載することで雇用の促進を行った。

5) 叙勲、厚生労働大臣表彰、東京都知事表彰などへの申請、本会における規定の会員表彰

例年通りに申請および表彰を行った。

6) 地球環境保全活動の推進（地域の清掃活動などへに参加）、禁煙運動促進と健康普及の推進

例年通りに申請および表彰を行った。

III. 活動報告

1. 会長・副会長・専門部委員会

【2022年4月】

- 1日（金）：庶務事務作業
2日（土）：庶務事務作業
4日（月）：庶務事務作業／代議員証発送作業
5日（火）：第37回日本診療放射線技師学術大会（AACRT・EACRT）監査（Web開催）／期末監査準備
6日（水）：第1回定款諸規程等検討委員会
7日（木）：東京電子専門学校入学式／第1回理事会（Web開催）
8日（金）：経理事務作業／庶務事務作業
9日（土）：庶務事務作業
11日（月）：庶務事務作業／選挙管理委員会準備／第38回JCRT実行委員会（Web開催）
12日（火）：2022年度第1回選挙管理委員会／第1回編集委員会（Web開催）／第1回SR推進委員会（Web開催）
13日（水）：経理事務作業／庶務事務作業／2022年5月号初校校正
14日（木）：庶務事務作業／第1回学術教育委員会
15日（金）：庶務事務作業
16日（土）：庶務事務作業／涉外事務作業
18日（月）：庶務事務作業／2022年5月号青焼き校正／第1回情報委員会
19日（火）：四谷会計事務所打ち合わせ／庶務事務作業
20日（水）：第1回五役会（Web開催）
21日（木）：庶務事務作業／涉外事務作業
22日（金）：庶務事務作業
23日（土）：期末監査準備
24日（日）：神奈川県告示研修／涉外事務作業
25日（月）：期末監査準備／庶務事務作業／第38回JCRT実行委員会（Web開催）
26日（火）：2021年度期末監査／あぜもと将吾報告会（Web開催）
27日（水）：第132回日暮里塾ワンコインセミナー
28日（木）：第1回専門部委員会（Web開催）
29日（金）：長野県告示研修

【2022年5月】

- 6日（金）：第2回理事会（Web開催）
7日（土）：庶務事務作業
8日（日）：東放技事務所資源ゴミ回収物及び倉庫整理
9日（月）：庶務事務作業（総会運営委員会準備作業）
10日（火）：第1回総会運営委員会／第2回編集委員会（Web開催）
11日（水）：庶務事務作業／2022年6月号初校校正
12日（木）：NTT東日本関東病院放射線科医師訪問／

告示研修打ち合わせ／期末監査整理

- 14日（土）：JART第1回理事会（Web開催）／TART役員研修会（Web開催）
15日（日）：第133回日暮里塾ワンコインセミナー＋フレッシャーズセミナー①（Web開催）
16日（月）：南関東FRT会議（Web開催）／庶務事務作業／2022年6月号青焼き校正
17日（火）：第2回五役会（Web開催）
18日（水）：日本放射線技師連盟講演会／宏池会と語る会／経理事務作業／庶務事務作業（総会資料発送準備作業）／日暮里塾ワンコインセミナー打ち合わせ／第2回SR推進委員会（Web開催）
19日（木）：庶務事務作業（総会資料発送準備作業）
20日（金）：告示研修準備作業／第2回学術教育委員会（Web開催）
21日（土）：告示研修①／日本放射線技術学会東京支部春期学術大会式典）
22日（日）：告示研修②
23日（月）：庶務事務作業（告示研修後処理）
24日（火）：中澤前会長叙勲伝達式／第134回日暮里塾ワンコインセミナー（Web開催）／広報委員会（慶應義塾大学病院）／第2回情報委員会（Web開催）
26日（木）：第2回専門部委員会（Web開催）／畦元将吾活動報告会（Web開催）
27日（金）：城西学園評議員会（Web開催）／庶務事務作業
28日（土）：畦元将吾活動報告会（Web開催）
29日（日）：中央区クリーンデー
30日（月）：庶務事務作業／第1回厚生調査委員会

【2022年6月】

- 1日（水）：TART代議員会
2日（木）：第3回理事会（Web開催）
4日（土）：フレッシャーズセミナー準備作業
5日（日）：第135回日暮里塾ワンコインセミナー＋フレッシャーズセミナー②
6日（月）：定款諸規程等検討委員会（Web開催）／中央区健康福祉まつり2022 第1回全体会議
7日（火）：第136回日暮里塾ワンコインセミナー（Web開催）／庶務事務作業（総会Web設定作業）
8日（水）：総会準備作業
9日（木）：総会準備会議／第1回涉外委員会
10日（金）：告示準備作業
11日（土）：JART第84回定時総会
13日（月）：顧問会／庶務事務作業（総会準備作業）
14日（火）：経理事務作業／庶務事務作業（総会準備作業）／第3回編集委員会（Web開催）

15日（水）：JART・イベント登録、参加システムの開発に関する説明会（Web開催）／第3回五役会／2022年7・8月合併号初校校正
16日（木）：庶務事務作業（総会準備作業）
17日（金）：第1地区研修会プレ実施／中央区健康福祉まつり打ち合わせ
18日（土）：第73回定期総会／第4回理事会（Web開催）／JART業務執行理事引継ぎ会議
20日（月）：庶務事務所作業（総会片付け作業）／2022年7・8月合併号青焼き校正
21日（火）：第3地区委員会（Web開催）出席
22日（水）：議事録署名ならびに退任届、就任承諾書の提出／経理事務作業／庶務事務所作業（告示準備作業）
23日（木）：第1地区研修会（Web開催）／第4回理事会議事録押印 書類提出
24日（金）：2022年度第1回南関東地域協議会拡大役員会・関東甲信越地域拡大役員会／第3回学術教育委員会（Web開催）
25日（土）：2022年度関東甲信越診療放射線技師学術大会
26日（日）：2022年度関東甲信越診療放射線技師学術大会／涉外事務作業
27日（月）：庶務事務所作業（総会関係作業）
28日（火）：庶務事務所作業（告示準備作業）／厚生調査委員会／第3回SR推進委員会
29日（水）：東京ファシリテータ会議
30日（木）：第3回専門部委員会（Web開催）

【2022年7月】

1日（金）：セコム設定作業立ち合い／庶務事務作業（総会処理）
2日（土）：経理事務作業
6日（水）：庶務事務作業（総会処理）／涉外事務作業
7日（木）：第5回理事会（Web開催）
8日（金）：JART新役員会／JART理事会／庶務事務作業（総会処理）
9日（土）：JART新任会長会議／庶務事務作業
11日（月）：庶務事務作業／経理事務作業
12日（火）：庶務事務作業（フレッシュアーズセミナー後処理）／第4回編集委員会
13日（水）：庶務事務作業（フレッシュアーズセミナー後処理）／第4地区委員会（Web開催）出席／練馬まつり打ち合わせ
14日（木）：第137回日暮里塾ワンコインセミナー（Web開催）
15日（金）：告示研修医師施設訪問（慈恵医大、聖路加国際病院）／治療研立ち合い
16日（土）：JART創立75周年記念式典／涉外事務作業
17日（日）：JART地域委員会（全国地域連絡協議会）

19日（火）：第4回五役会／庶務事務作業／第2回広報委員会
20日（水）：経理事務作業／庶務事務作業／第4回学術教育委員会（Web開催）／第4回情報委員会
21日（木）：庶務事務作業
22日（金）：庶務事務作業（フレッシュアーズ発送準備作業）
25日（月）：庶務事務作業（フレッシュアーズ発送作業）
26日（火）：南関東FRT第7回研修会ウェビナー設定作業／第3回厚生調査委員会（Web開催）
27日（水）：南関東FRT会議出席
28日（木）：第4回専門部委員会（Web開催）
29日（金）：第3地区委員会出席
30日（土）：告示研修③
31日（日）：告示研修④

【2022年8月】

1日（月）：庶務事務作業（告示研修後処理）
2日（火）：第138回日暮里塾ワンコインセミナー（Web開催）／庶務事務作業（FRT登録作業）／涉外事務作業
3日（水）：庶務事務作業（告示研修後処理）／第1回合同学術講演会準備会議
4日（木）：サマーセミナー打ち合わせ
5日（金）：庶務事務作業／東京放射線治療技術研究会事務所対応
8日（月）：第5回学術教育委員会（Web開催）／2022年9月初校校正
9日（火）：経理事務作業／庶務事務作業（登記準備作業）／第5回編集委員会（Web開催）
10日（水）：庶務事務作業
13日（土）：経理事務作業
15日（月）：2022年9月号青焼き校正
16日（火）：庶務事務作業（登記準備作業）／第4回SR推進委員会（Web開催）
17日（水）：第5回五役会（Web開催）／第17回ペイント学術大会準備会議（事務作業）／庶務事務作業
19日（金）：庶務事務作業（FRT研修会準備作業）／涉外事務作業
20日（土）：第5回南関東FRT研修会
22日（月）：経理事務作業／庶務事務作業
23日（火）：庶務事務作業／第4回厚生調査委員会（Web開催）／第3地区委員会（Web開催）出席／第5回情報委員会（Web開催）
25日（木）：第5回専門部委員会（Web開催）／練馬まつり打ち合わせ
27日（土）：第20回サマーセミナー
31日（水）：庶務事務作業

【2022年9月】

- 1日（木）：第6回理事会（Web開催）
2日（金）：第139回日暮里塾ワンコインセミナー（Web開催）
3日（土）：庶務事務所作業
5日（月）：庶務事務作業
6日（火）：荒川消防署へ書類提出／庶務事務所作業
7日（水）：経理事務作業／庶務事務所作業／練馬まつり 出展者説明会（Web開催）
8日（木）：庶務事務所作業（事務所PC故障対応）／涉外事務作業／練馬まつり・中央区健康福祉まつり打ち合わせ
9日（金）：告示研修打ち合わせ／事務所作業（事務所PC故障対応）／城西支部研修会依頼状発行／第2回渉外委員会（Web開催）
10日（土）：事務所作業（PC故障対応、業者へ搬出）
11日（日）：事務所作業（データ復旧作業）
12日（月）：事務所作業（データ復旧作業）／渉外事務作業／2022年10月号初校校正
13日（火）：経理事務作業／事務所作業（PC購入）／第6回編集委員会（Web開催）
14日（水）：事務所作業（PC設定作業）／第6回学術教育委員会（Web開催）／第5回厚生調査委員会
15日（木）：第4地区委員会（Web開催）出席
16日（金）：第38回日本診療放射線技師学術大会参加／渉外事務作業／2022年10月号青焼き校正
17日（土）：第38回日本診療放射線技師学術大会参加／経理事務作業
18日（日）：第38回日本診療放射線技師学術大会参加
19日（月）：経理事務作業／事務所作業（PC設定作業）
20日（火）：事務所作業（PC故障対応、業者よりデータ搬出）／第3地区委員会（Web開催）
21日（水）：第1回表彰委員会／第6回五役会（Web開催）
22日（木）：事務所作業（告示研修準備作業）
23日（金）：令和4年度第5回告示研修（南部労政会館）
24日（土）：経理事務作業／令和4年度第6回告示研修
25日（日）：渉外事務作業
26日（月）：事務所作業（告示研修後処理）
27日（火）：事務所作業（PC設定作業）／庶務事務作業／第6回情報委員会／第5回SR推進委員会（Web開催）
29日（木）：第6回専門部委員会（Web開催）
30日（金）：城東支部研修会（Web開催）／第3回広報委員会

【2022年10月】

- 1日（土）：事務所作業（PC設定作業）／渉外事務作業
2日（日）：事務所作業（PC設定作業）／渉外事務作業

- 3日（月）：事務所作業（PC設定作業）／合同学術講演会依頼状発行
4日（火）：第7回理事会（Web開催）／告示研修看護師派遣依頼状発行
5日（水）：第4地区研修会
6日（木）：五役+監事+顧問+高山氏会議／臨時専門部委員会
7日（金）：経理事務作業／事務所作業／渉外事務作業／2022年11月号初校校正
8日（土）：事務所作業（バックアップ作業）
9日（日）：経理事務作業／事務所作業（バックアップ作業）／庶務事務作業
11日（火）：経理事務作業／事務所作業（バックアップ作業）／第7回編集委員会（Web開催）
12日（水）：第13地区研修会／第6回厚生調査委員会（Web開催）
13日（木）：第1回総務委員会
14日（金）：第140回日暮里塾ワンコインセミナー／第7回学術・教育委員会（Web開催）
15日（土）：情報委員会（新人研修会）
16日（日）：第45回練馬まつり
17日（月）：事務所作業（告示研修準備作業）／2022年11月号青焼き校正／調査事業事務作業
18日（火）：第3地区委員会（Web開催）出席
19日（水）：第7回五役会／都庁管理法人課訪問
20日（木）：事務所作業（告示研修準備作業）／第4地区委員会（Web開催）出席
21日（金）：経理事務作業／庶務事務作業
22日（土）：事務所作業（告示研修準備作業）
23日（日）：中央区健康福祉まつり
24日（月）：第7回専門部委員会
25日（火）：中間監査
26日（水）：第7回厚生調査委員会（Web開催）
28日（金）：OTAふれあいフェスタ打ち合わせ／第7回情報委員会（Web開催）

【2022年11月】

- 1日（火）：SR推進委員会会務
2日（水）：第8回理事会（Web開催）
3日（木）：渉外事務作業
4日（金）：事務所作業（統一物品整理）／OTAふれあいフェスタ前日準備
5日（土）：OTAふれあいフェスタ／第22回合同学術講演会
6日（日）：第5地区荒川クリーンエイド／OTAふれあいフェスタ
7日（月）：臨時五役会／2022年12月号初校校正
8日（火）：告示研修医師挨拶／第8回編集委員会（Web開催）
9日（水）：第141回日暮里塾ワンコインセミナー／

ファシリテータ打ち合わせ

- 11日（金）：厚生調査アンケート準備作業／告示研修準備作業
12日（土）：令和4年度第7回告示研修
13日（日）：令和4年度第8回告示研修
14日（月）：告示研修後片付け
15日（火）：事務所作業（感染性廃棄物処理）／2022年12月号再校校正
16日（水）：第8回五役会
17日（木）：第7回第4地区委員会（Web開催）出席／2022年12月号三校校正
19日（土）：SR推進委員会会務
20日（日）：第3地区研修会依頼状発行
21日（月）：第8回情報委員会／第8回学術教育委員会（Web開催）
22日（火）：事務所作業（登記準備作業）
24日（木）：第8回専門部理事会
25日（金）：城西支部研修会
26日（土）：城北支部研修会
29日（火）：定款諸規程等検討委員会

【2022年12月】

- 1日（木）：引地事務局員冬季慰労会出席
2日（金）：経理事務作業
3日（土）：日放技第85回臨時総会（Web開催）
4日（日）：JART教育委員幹事会／涉外事務作業
5日（月）：事務所作業（登記準備作業）／ペイシエントケア依頼状発行
6日（火）：事務所作業（登記準備作業）／第4地区研修会リハーサル・打ち合わせ（Web開催）
8日（木）：自民党萩生田政調会長表敬訪問／第9回理事会
9日（金）：事務所作業（告示研修片付け）
12日（月）：武見敬三国会議員「武見セミナー」出席／第142回日暮里塾ワンコインセミナー／2023年1月号初校校正
13日（火）：事務所作業（告示研修片付け）／会長就任挨拶状発送／第9回編集委員会（Web開催）
14日（水）：第9回五役会／臨時総会運営委員会／第4回広報委員会
15日（木）：第8回第4地区委員会（Web開催）出席／定款諸規程等検討委員会（Web開催）
16日（金）：第9回学術教育委員会（Web開催）／2023年1月号再校校正／第3地区委員会（Web開催）出席
17日（土）：厚生調査アンケート関連作業／経理事務作業／ペイシエントケア依頼状発行
18日（日）：2023年1月号青焼き校正
19日（月）：告示研修準備作業／第10回学術教育委員会

会（メール会議）／中央区健康福祉まつり第3回全体会議

- 20日（火）：第9回情報委員会（Web開催）
22日（木）：第9回専門部委員会（Web開催）
25日（日）：北海道技師会板東氏との打ち合わせ
28日（水）：事務所納め

【2023年1月】

- 4日（水）：事務所開き／経理事務作業／臨時総会資料発送
5日（木）：第10回理事会（Web開催）
6日（金）：経理事務作業／事務所作業（告示準備作業）／2023年2月号初校校正
10日（火）：事務所作業（告示準備作業）／第10回編集委員会（Web開催）
11日（水）：第143回日暮里塾ワンコインセミナー（Web開催）／ペイシエントケア学術大会依頼状作成／多摩支部研修会依頼状作成
13日（金）：事務所作業（告示準備作業）
14日（土）：2022年度第9回告示研修／告示研修搬出作業
15日（日）：2022年度第10回告示研修／告示研修搬出作業
16日（月）：事務所作業（告示研修後片付け）／涉外事務作業／第6回SR推進委員会（Web開催）
17日（火）：事務所作業（告示研修処理）
18日（水）：第10回五役会（Web開催）
19日（木）：第4地区委員会（Web開催）出席／2023年2月号青焼き校正
20日（金）：経理事務作業／東京放射線治療技術研究会事務所立会
21日（土）：会長事務処理業務／涉外事務作業／第11回学術教育委員会（Web開催）
23日（月）：事務所作業（役員変更申請作業）
24日（火）：事務所作業（告示研修資料送付）／第12回学術教育委員会（メール会議）
26日（木）：第10回専門部委員会（Web開催）
27日（金）：放射線相談委員会（Web開催）
28日（土）：第20回ウインターフェスティバル（ハイブリッド開催）
30日（月）：事務所作業（南関東地域役員会資料作成）／第10回情報委員会（Web開催）
31日（火）：第8回厚生調査委員会（Web開催）

【2023年2月】

- 1日（水）：経理事務作業／事務所作業
2日（木）：第11回理事会（Web開催）
3日（金）：第3地区研修会（Web開催）出席／経理事務作業／事務所作業（ペイシエントケア学術大会準備作業）

- 4日（土）：第17回ペイシェントケア学術大会
 5日（日）：涉外事務作業
 6日（月）：2022年度第4地区研修会リハーサル
 7日（火）：第3回涉外委員会／事務所作業（Hybrid 機材準備作業）／学術事務作業
 8日（水）：第4地区研修会（ハイブリッド開催）／学術事務作業
 9日（木）：城東支部合同会議（Web開催）
 10日（金）：第16地区研修会（ハイブリッド開催）／公益Information 差し戻し対応／2023年3月号初校校正
 11日（土）：千葉県告示研修お手伝い／JART 2022年度放射線機器管理地域研修会
 12日（日）：千葉県告示研修お手伝い
 13日（月）：事務所作業／第9地区研修会依頼状作成
 14日（火）：庶務事務作業／学術教育委員会（Web開催）／第11回編集委員会（Web開催）
 15日（水）：第11回五役会（Web開催）／2023年3月号青焼き校正
 16日（木）：第9地区会議（Web開催）／2022年度第2回定款諸規程等検討委員会（Web開催）／涉外事務作業／第10回第4地区委員会（メール会議）
 17日（金）：第12地区研修会（Web開催）／東京放射線治療技術研究会事務所立会／告示研修準備作業
 18日（土）：2022年度第11回告示研修（駒澤大学）／経理事務作業
 19日（日）：2022年度第12回告示研修
 20日（月）：事務所作業（告示研修後処理作業）
 21日（火）：事務所作業（告示研修後処理作業）
 22日（水）：東京都薬剤師会訪問／第5地区研修会（Web開催）
 23日（木）：第74回臨時総会（Web開催）／第2回総会運営委員会（Web開催）
 24日（金）：第62回多摩診療放射線技師連合会総会（Web開催）出席／第11回専門部委員会（Web開催）
 27日（月）：事務所作業（南関東地域役員会資料作成）／第11回情報委員会（Web開催）
 28日（火）：第9地区研修会（Web開催）
- 【2023年3月】**
- 1日（水）：経理事務作業
 2日（木）：第12回理事会（Web開催）
 3日（金）：多摩支部研修会出席（Web開催）／事務所作業（統一講習会準備作業）
 4日（土）：業務拡大に伴う統一講習会／第1回災害対策研修会／事務所作業／第8回SR推進委員会
- 5日（日）：業務拡大に伴う統一講習会／事務所作業
 7日（火）：城西放射線技術専門学校卒業式出席／第2回表彰委員会／南関東地域会議打ち合わせ／第4回涉外委員会（Web開催）
 8日（水）：第11地区研修会（Web開催）
 9日（木）：第6地区研修会（ハイブリッド開催）
 10日（金）：城南支部研修会（Web開催）／2023年4月号初校校正
 12日（日）：JART南関東地域会長会議
 13日（月）：第3回放射線相談委員会
 14日（火）：事務所作業／第12回編集委員会（Web開催）
 15日（水）：第12回五役会（Web開催）
 16日（木）：第11回第4地区委員会（Web開催）出席
 17日（金）：第12地区研修会（Web開催）／2023年4月号青焼き校正
 18日（土）：経理事務作業
 20日（月）：事業計画提出準備／（株）キタジマと打ち合わせ
 22日（水）：荒川消防署書類提出／経理事務作業／第14回学術教育委員会（Web開催）
 23日（木）：（株）キタジマと打ち合わせ／第3回定款諸規程等検討委員会
 24日（金）：事務所作業
 27日（月）：涉外事務作業
 28日（火）：事務所作業
 29日（水）：第12回情報委員会（Web開催）
 30日（木）：第12回専門部委員会（Web開催）
 31日（金）：事務所作業

2. 各地区共通活動

総会・研修会・生涯教育・学術大会・スポーツ大会などの東放技主催事業への協力。会員増員への啓発活動、会員名簿のメンテナンス、東放技会と会員間の案内活動などとその活動報告

3. 地区活動報告

【第1地区】

- ◇地区委員会開催11回（内メール会議2回）
- ◇城東支部研修会 2022年9月30日（金）
参加人数：会員41名、非会員3名
- ◇中央区健康福祉まつり2022 2022年10月23日（日）
参加人数：会員10名、非会員182名

- ◇地区研修会 2022年6月23日（木）
参加人数：会員24名、非会員3名

【第2地区】

- ◇地区委員会開催10回（内メール会議9回）
- ◇城東支部研修会 2022年9月30日（金）
参加人数：会員41名、非会員3名

◇中央区健康福祉まつり2022

2022年10月23日（日）

参加人数：会員10名、非会員182名

◇地区研修会 開催なし

◇中央区クリーンデー 2022年5月29日（日）

参加人数：会員12名、一般2名

【第3地区】

◇地区委員会開催12回（内メール会議1回）

◇城西支部研修会 2022年11月25日（金）

参加人数：会員46名、非会員2名、他職種2名

◇地区研修会 2023年2月3日（金）

参加人数：会員76名、非会員3名

【第4地区】

◇地区委員会開催11回（内メール会議1回）

◇城南支部研修会 2023年3月10日（金）

参加人数：会員64名、非会員5名、医師1名

◇地区研修会 2022年10月5日（水）

参加人数：会員30名、非会員17名、新卒・新入会5名
2023年2月8日（水）

参加人数：会員66名、非会員7名、一般5名

◇OTAふれあいフェスタ2022

2022年11月5日（土）-6日（日）

参加人数：会員32名、非会員544名

【第5地区】

◇地区委員会開催11回（内メール会議4回）

◇城北支部研修会 2022年11月26日（土）

参加人数：会員29名

◇地区研修会 2023年2月22日（水）

参加人数：会員42名、非会員6名

◇荒川クリーンエイド2022

2022年11月6日（日）

参加人数：会員12名、一般2名

【第6地区】

◇地区委員会開催10回（内メール会議3回）

◇城北支部研修会 2022年11月26日（土）

参加人数：会員29名

◇地区研修会 2023年3月9日（木）

参加人数：会員58名

【第7地区】

◇地区委員会開催10回（内メール会議8回）

◇城東支部研修会 2022年9月30日（金）

参加人数：会員41名、非会員3名

◇中央区健康福祉まつり2022

2022年10月23日（日）

参加人数：会員10名、非会員182名

◇地区研修会

開催なし

【第8地区】

◇地区委員会開催11回

◇城南支部研修会 2023年3月10日（金）

参加人数：会員64名、非会員5名、医師1名

◇地区研修会 開催なし

◇OTAふれあいフェスタ2022

2022年11月5日（土）-6日（日）

参加人数：会員32名、非会員544名

【第9地区】

◇地区委員会開催11回（内メール会議10回）

◇城西支部研修会 2022年11月25日（金）

参加人数：会員46名、非会員2名、他職種2名

◇地区研修会 2023年2月28日（火）

参加人数：会員42名、非会員5名

【第10地区】

◇地区委員会開催11回（内メール会議11回）

◇城西支部研修会 2022年11月25日（金）

参加人数：会員46名、非会員2名、他職種2名

◇地区研修会 開催なし

【第11地区】

◇地区委員会開催8回（内メール会議6回）

◇城南支部研修会 2023年3月10日（金）

参加人数：会員64名、非会員5名、医師1名

◇地区研修会 2023年3月8日（水）

参加人数：会員37名、非会員1名、一般1名

◇OTAふれあいフェスタ2022

2022年11月5日（土）-6日（日）

参加人数：会員32名、非会員544名

【第12地区】

◇地区委員会開催8回

◇多摩支部研修会 2023年3月3日（金）

参加人数：会員49名、非会員4名、他職種1名

◇地区研修会 2023年2月17日（金）

参加人数：会員58名、非会員9名

【第13地区】

◇地区委員会開催9回（内メール会議5回）

◇多摩支部研修会 2023年3月3日（金）

参加人数：会員49名、非会員4名、他職種1名

◇地区研修会 2022年10月12日（水）

参加人数：会員24名、非会員2名、新卒・新入会2名、一般4名

【第14地区】

- ◇地区委員会開催11回（内メール会議4回）
- ◇城東支部研修会 2022年9月30日（金）
参加人数：会員41名、非会員3名
- ◇中央区健康福祉まつり2022
2022年10月23日（日）
参加人数：会員10名、非会員182名
- ◇地区研修会 開催なし

【第15地区】

- ◇地区委員会開催12回（内メール会議4回）
- ◇城南支部研修会 2023年3月10日（金）
参加人数：会員64名、非会員5名、医師1名
- ◇地区研修会 開催なし
- ◇OTAふれあいフェスタ2022
2022年11月5日（土）-6日（日）
参加人数：会員32名、非会員544名

【第16地区】

- ◇地区委員会開催11回
- ◇城北支部研修会 2022年11月26日（土）
参加人数：会員29名
- ◇地区研修会 2023年2月10日（金）
参加人数：会員42名、非会員1名

5. 特別委員会活動報告

【表彰委員会】

- ◇主な活動内容
 - 1) 東京都功労者表彰候補者推薦
 - 2) 叙勲候補者推薦
 - 3) 功勞賞候補者推薦

◇委員会

- 第1回委員会 2022年9月21日（水）
- 第2回委員会 2023年3月7日（火）

【定款諸規程等検討委員会】

- ◇主な活動内容
 - 定款改正案
 - 会費減額に関する時限規程案
- ◇委員会
 - 第1回委員会 2022年12月15日（木）
 - 第2回委員会 2023年2月16日（木）
 - 第3回委員会 2023年3月23日（木）

【国際委員会】

- ◇主な活動内容
 - 1) SRTA学術大会への派遣演題2演題
2023年3月23日（木）-26日（日）

4. 支部活動報告

城東支部研修会1回
城西支部研修会1回
城南支部研修会1回
城北支部研修会1回
多摩支部研修会1回

IV. 活動報告 (庶務概要)

1. 2022年度会員数

2022年度末

	会員数	増	減	差引
正会員	2448	248	121	127

2. 会議の回数

総会2回、理事会12回、専門部委員会12回

3. 主な発行資料および文章に関する事項

- (1) 定期総会開催について
- (2) 学術講演会など講師依頼について
- (3) 広告掲載のお願いについて
- (4) 表彰候補者の推薦について
- (5) 入会案内について

4. 2022年度物故者に関する件 (敬称略)

物故会員は次の方です。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

西澤 瞳夫

直井 勝己

5. 叙勲などに関する事項 (敬称略)

【春の叙勲 瑞宝双光章】

田川 雅人 森山脳神経センター病院

【厚生労働大臣表彰】

市川 重司 国際医療福祉大学

【東京都功労者表彰】

江田 哲男 東京都済生会中央病院

【労働精励賞】

第1地区 西岡 尚美 東京通信病院

第3地区 小川 尚哉 公益財団法人東京都予防医学協会

第4地区 松村 和典 新赤坂クリニック

第4地区	山下 明	東京都立広尾病院
第6地区	高橋 克行	足立共済病院
第6地区	片岡 剛	頭とからだのクリニック かねなか脳神経外科
第7地区	染谷 哲央	順天堂大学医学部附属順天堂東京江東高齢者医療センター
第10地区	大石由佳里	立正佼成会附属佼成病院
第10地区	青木 一也	順天堂大学医学部附属練馬病院
第13地区	野中 孝志	公立福生病院
第13地区	江積 孝之	特定医療法人財団慈生会野村病院
第16地区	湯浅 仁博	群馬パース大学

【小野賞】

総務委員会	村山 嘉隆	東京大学医学部附属病院
広報委員会	大内 里香	武藏新城ブレストクリニック
学術委員会	圓城寺純男	元 多摩南部地域病院
第3地区	若松 和行	国立研究開発法人国立国際医療研究センター病院
第4地区	竹安 直行	日本赤十字医療センター
第11地区	岩田 雄介	自衛隊中央病院
第13地区	菊池 悟	東京医科大学八王子医療センター

【学術奨励賞】

比内 聖紀 日本大学医学部附属板橋病院
「自由呼吸下における腹壁と肺腫瘍の動きの相関について」

【新人奨励賞】

矢口 駿 順天堂大学医学部附属順天堂医院
「単純XP・CT・MRI検査における四肢ポジショニングとオリエンテーションマークならびに画像表示のピットフォール」

一ツ木康晶 NTT東日本関東病院
「肘関節CT検査における上肢拳上撮影時の水晶体被ばく線量評価」

第2号議案 2022年度決算報告（案）

貸 借 対 照 表

令和 5 年 3 月 31 日現在

(単位 : 円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	14,563,899	13,650,098	913,801
流動資産合計	14,563,899	13,650,098	913,801
2. 固定資産			
(1) 基本財産	0	0	0
(2) 特定資産			
建物	24,585,670	25,259,250	△ 673,580
土地	32,749,000	32,749,000	0
研修センター拡張等積立資産	21,000,000	20,000,000	1,000,000
特定資産合計	78,334,670	78,008,250	326,420
(3) その他固定資産			
建物附属設備	314,844	512,597	△ 197,753
什器備品	480,866	458,692	22,174
電話加入権	10,300	10,300	0
ソフトウェア	146,880	250,560	△ 103,680
その他固定資産合計	952,890	1,232,149	△ 279,259
固定資産合計	79,287,560	79,240,399	47,161
資産合計	93,851,459	92,890,497	960,962
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未 払 金	4,760	7,016	△ 2,256
預 り 金	8,761	6,720	2,041
流動負債合計	13,521	13,736	△ 215
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	13,521	13,736	△ 215
III. 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄 付 金	12,895,583	12,895,583	0
指定正味財産合計	12,895,583	12,895,583	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(12,895,583)	(12,895,583)	(0)
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	80,942,355	79,981,178	961,177
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	(65,439,087)	(65,112,667)	(326,420)
負債及び正味財産合計	93,837,938	92,876,761	961,177
	93,851,459	92,890,497	960,962

(注) 附属明細書に記載すべき「基本財産及び特定資産の明細」は、財務諸表に対する注記の「2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高」の記載により、作成を省略している。

正味財産増減計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位 : 円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 受取会費			
正会員受取会費	24,849,000	24,242,560	606,440
賛助会員受取会費	97,000	77,000	20,000
② 事業収益			
研修会事業収益	77,505	171,277	△ 93,772
親睦会事業収益	0	0	0
③ 受取寄付金	0	0	0
④ 雜収益			
受取利息	352	320	32
広告収益	2,002,740	1,636,640	366,100
雑収益	464,437	483,246	△ 18,809
経常収益計	27,491,034	26,611,043	879,991
(2) 経常費用			
① 事業費			
給料手当	1,056,415	1,157,215	△ 100,800
福利厚生費	186,276	184,981	1,295
会議費	2,329,472	2,171,824	157,648
旅費交通費	701,104	179,994	521,110
通信運搬費	2,540,727	2,301,714	239,013
減価償却費	905,677	946,369	△ 40,692
消耗品費	1,557,951	1,139,621	418,330
修繕費	234,240	234,240	0
印刷製本費	8,833,712	10,670,812	△ 1,837,100
光熱水料費	168,557	121,740	46,817
管理費	820,704	820,704	0
倉庫使用費	169,344	169,344	0
保険料	21,313	21,313	0
支払手数料	151,015	124,990	26,025
租税公課	236,153	235,653	500
慶弔費	29,200	26,400	2,800
広報関連費	701,359	307,213	394,146
研究助成費	50,000	50,000	0
原稿料	111,371	100,233	11,138
諸謝金	1,091,849	362,603	729,246
雑費	65,397	26,514	38,883
事業費計	21,961,836	21,353,477	608,359

科 目	当年度	前年度	増減
②管理費			
役員報酬	200,468	200,468	0
給料手当	1,056,415	1,157,215	△ 100,800
福利厚生費	186,276	184,980	1,296
会議費	439,075	409,361	29,714
旅費交通費	50,007	12,838	37,169
通信運搬費	194,877	176,544	18,333
印刷製本費	139,775	168,842	△ 29,067
減価償却費	226,420	229,793	△ 3,373
消耗品費	389,488	284,906	104,582
修繕費	58,560	58,560	0
光熱水料費	42,139	30,435	11,704
管理費	205,176	205,176	0
倉庫使用費	42,336	42,336	0
保険料	5,329	5,329	0
支払手数料	37,754	31,248	6,506
租税公課	189,347	188,947	400
慶弔費	7,300	6,600	700
支払報酬	1,021,532	928,032	93,500
雑費	10,005	4,057	5,948
管理費計	4,502,279	4,325,667	176,612
経常費用計	26,464,115	25,679,144	784,971
当期経常増減額	1,026,919	931,899	95,020
2. 経常外損益の部			0
(1) 経常外収益			0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			0
固定資産除却損	65,742	0	65,742
経常外費用計	65,742	0	65,742
当期経常外増減額	△ 65,742	0	△ 65,742
税引前当期一般正味財産増減額	961,177	931,899	29,278
法人税、住民税及び事業税	0	0	0
当期一般正味財産増減額	961,177	931,899	29,278
一般正味財産期首残高	79,981,178	79,049,279	931,899
一般正味財産期末残高	80,942,355	79,981,178	961,177
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	12,895,583	12,895,583	0
指定正味財産期末残高	12,895,583	12,895,583	0
III 正味財産期末残高	93,837,938	92,876,761	961,177

正味財産増減計算書内訳表
令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

科 目	公益目的事業会計		収益事業等会計			法 人 計	決算合計 (A)	予算 (B)	(参考) 差異 (A-B)
	体験活動 他	会員のための 生涯教育事業	相互扶助 表彰新睦	共 通	小 計				
I 一般正味財産増減の部									
(1) 経常増減の部									
① 受取会員費	17,394,300	496,980	248,490	745,470	6,709,230	24,849,000	23,000,000	1,849,000	
正会員受取会員費	67,900	1,940	970	2,910	26,190	97,000	100,000	△ 3,000	
② 事業収益	51,670	25,835	0	25,835	0	77,505	1,000,000	△ 922,495	
研修会事業収益	0	0	0	0	0	0	2,500,000	△ 2,500,000	
③ 受取寄付金	0	0	0	0	0	0	30,000	△ 30,000	
④ 雑収益	352	0	0	0	0	352	500	△ 148	
受取利息	2,002,740	0	0	0	0	2,002,740	1,800,000	△ 202,740	
広告収益	85,437	0	85	85	437	464,437	600,000	△ 135,563	
雑収益	0	0	0	0	0	0	0	0	
経常収益計	19,516,962	610,192	249,460	0	859,652	7,114,420	27,491,034	29,030,500	△ 1,539,466
(2) 経常費用									
① 事業費									
給料手当	718,362	126,770	211,283	338,053	1,056,415	1,175,000	1,118,585		
福利厚生費	126,668	22,353	37,255	59,608	186,276	185,000	1,276		
会議費	1,476,242	141,216	712,014	853,230	2,329,472	5,300,857	△ 2,971,385		
旅費交通費	631,844	59,259	10,001	69,260	701,104	933,422	△ 232,318		
通信費	2,518,803	21,924	0	21,924	2,540,727	2,229,030	311,697		
通信運搬費	895,498	6,786	3,393	10,179	905,677	1,147,686	△ 242,009		
減価償却費	1,538,477	19,474	0	19,474	1,557,951	1,280,000	277,951		
消耗品費	234,240	0	0	0	234,240	240,000	△ 5,760		
修繕費	8,683,980	79,845	69,887	149,732	8,833,712	8,859,812	△ 26,100		
印刷製本費	166,450	2,107	0	2,107	168,557	160,000	8,557		
光熱水料費	820,704	0	0	0	820,704	824,000	△ 3,296		
管理費	169,344	0	0	0	169,344	176,000	△ 6,656		
倉庫使用費	21,047	266	0	266	21,313	56,000	△ 34,687		
保険料	132,138	0	18,877	18,877	151,015	160,000	△ 8,985		
支払手数料	236,153	0	0	0	236,153	249,750	△ 13,597		
租税公課	0	0	29,200	29,200	29,200	160,000	△ 130,800		
慶弔費	701,359	0	0	0	701,359	2,000,000	△ 1,298,641		
研修開連費	35,000	15,000	0	15,000	50,000	60,000	△ 10,000		
研究助成費	111,371	0	0	0	111,371	200,000	△ 88,629		
原稿料	808,826	283,023	0	283,023	1,091,849	500,000	591,849		
諸謝金	0	0	0	0	0	50,000	△ 50,000		
図書費	58,398	1,996	5,003	6,999	65,397	408,067	△ 342,670		
事業費計	20,084,904	780,019	1,096,913	0	1,876,932	21,961,836	26,354,624	△ 4,392,788	

科 目	公益目的事業会計		収益事業等会計			法 人 合 計	決算合計 (A)	予 算 (B)	(参 考) 差異 (A - B)
	体験活動 他	会員のための 生涯教育事業	相互扶助 表彰報酬	共 通	小 計				
②管理費									
役員報酬						200, 468	200, 468	210, 000	△ 9, 532
給料手当						1, 056, 415	1, 056, 415	1, 175, 000	△ 118, 585
福利厚生費						186, 276	186, 276	185, 000	1, 276
会議費						439, 075	439, 075	999, 143	△ 560, 068
交通費						50, 007	50, 007	66, 578	△ 16, 571
通信運搬費						194, 877	194, 877	170, 970	23, 907
印刷製本費						139, 775	139, 775	140, 188	△ 413
減価償却費						226, 420	226, 420	252, 314	△ 25, 894
消耗品費						389, 488	389, 488	320, 000	69, 488
修繕費						58, 560	58, 560	60, 000	△ 1, 440
光熱水料費						42, 139	42, 139	40, 000	2, 139
管理費						205, 176	205, 176	206, 000	△ 824
倉庫使用費						42, 336	42, 336	44, 000	△ 1, 664
保険料						5, 329	5, 329	14, 000	△ 8, 671
支払手数料						37, 754	37, 754	40, 000	△ 2, 246
租税公課						189, 347	189, 347	200, 250	△ 10, 903
慶弔費用						7, 300	7, 300	40, 000	△ 32, 700
支払報酬						1, 021, 532	1, 021, 532	950, 000	71, 532
支払利息						0	0	0	0
雑費						10, 005	10, 005	62, 433	△ 52, 428
管理費計						4, 502, 279	4, 502, 279	5, 175, 876	△ 664, 065
経常費用計	20, 084, 904	780, 019	1, 096, 913	0	1, 876, 932	4, 502, 279	26, 464, 115	31, 530, 500	△ 5, 056, 853
評価損益調整前当期経常増減額	△ 567, 942	△ 169, 827	△ 847, 453	0	△ 1, 017, 280	2, 612, 141	1, 026, 919	△ 2, 500, 000	3, 517, 387
基本財産評価損益等									
特定資産評価損益等									
投資有価証券評価損益等									
評価損益等計									
当期経常増減額	△ 567, 942	△ 169, 827	△ 847, 453	0	△ 1, 017, 280	2, 612, 141	1, 026, 919	△ 2, 500, 000	3, 517, 387
2. 経常外増減の部									
(1) 経常外収益									
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用									
固定資産除却損	52, 594					13, 148	65, 742		65, 742
経常外費用計	52, 594	0	0	0	0	13, 148	65, 742	0	65, 742
当期経常外増減額	△ 52, 594	0	0	0	0	△ 13, 148	△ 65, 742	0	△ 65, 742
他会計振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 620, 536	△ 169, 827	△ 847, 453	0	△ 1, 017, 280	2, 598, 993	961, 177	△ 2, 500, 000	3, 451, 645
法人税、住民税及び事業税	△ 620, 536	△ 169, 827	△ 847, 453	0	△ 1, 017, 280	2, 598, 993	961, 177	△ 2, 500, 000	3, 451, 645
当期一般正味財産期首残高							79, 981, 178	79, 049, 279	931, 899
一般正味財産期末残高							80, 942, 355	76, 549, 279	4, 393, 076
II 指定正味財産増減の部									
当期指定正味財産増減額							12, 895, 583	12, 895, 583	0
指定正味財産期首残高							12, 895, 583	12, 895, 583	0
III 正味財産期末残高							93, 837, 938	89, 444, 862	4, 393, 076

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

当法人は「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律」並びに「公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律」の関連する規定に基づき、「公益法人会計基準」（平成20年4月11日、令和2年5月15日最終改正 内閣府公益認定等委員会）を採用している。

(1) 固定資産の減価償却の方法

固定資産の減価償却は、次のように行っている。

有形固定資産 定額法

ソフトウェア 定額法

(2) 消費税等の会計処理について

消費税等の会計処理は税込方式により行っている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産	—	—	—	—
特定資産				
建 物	25,259,250	0	673,580	24,585,670
土 地	32,749,000	0	0	32,749,000
研修センター拡張等積立資産	20,000,000	1,000,000	0	21,000,000
小 計	78,008,250	1,000,000	673,580	78,334,670
合 計	78,008,250	1,000,000	673,580	78,334,670

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産	—	—	—	—
特定資産				
建 物	24,585,670	—	(24,585,670)	—
土 地	32,749,000	(12,895,583)	(19,853,417)	—
研修センター拡張等積立資産	21,000,000	—	(21,000,000)	
小 計	78,334,670	(12,895,583)	(65,439,087)	—
合 計	78,334,670	(12,895,583)	(65,439,087)	—

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
特定資産			
建 物			
事務所マンション区分所有権	33,678,999	9,093,329	24,585,670
小 計	33,678,999	9,093,329	24,585,670
土 地			
事務所マンション敷地権	32,749,000		32,749,000
小 計	32,749,000		32,749,000
その他固定資産			
建物附属設備			
電気設備工事	170,000	151,866	18,134
スティールパーティーション	1,079,469	964,320	115,149
スライディング遮音ドア	1,702,082	1,520,521	181,561
小 計	2,951,551	2,636,707	314,844
什器備品			
会旗	1,650,000	1,649,999	1
データプロジェクター	379,050	379,049	1
X線測定器	551,250	551,249	1
映画用スクリーン	120,058	120,057	1
壁面収納	676,691	604,506	72,185
ロールスクリーン	218,449	218,448	1
寄付者名盤	500,000	495,000	5,000
プロジェクター	182,960	182,959	1
耐火金庫	378,525	197,146	181,379
プロジェクター	538,500	538,499	1
デジタルアンプ	277,580	277,579	1
事務用パソコン	208,364	195,341	13,023
事務用パソコン	245,000	35,729	209,271
小 計	5,926,427	5,445,561	480,866
電話加入権			
固定電話 (03-3806-7724)	10,300		10,300
ソフトウェア			
公益会計ソフト	518,400	371,520	146,880
小 計	528,700	371,520	157,180
合 計	75,834,677	17,547,117	58,287,560

5 重要な後発事象

該当なし

財産目録

令和 5 年 3 月 31 日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金 預金	手元保管 <普通預金> 三井住友信託銀行新橋支店 1 三井住友信託銀行新橋支店 2 みずほ銀行八重洲口支店 三井住友銀行日暮里支店 <振替貯金> ゆうちょ銀行振替口座	運転資金として 運転資金として 同上 同上 同上 運転資金として <現金・預金計>	270,813 94,393 1,980,532 2,152,670 306,364 9,759,127 14,563,899
流動資産合計				14,563,899
(固定資産)				
特定資産	建物	マンション区分所有権 505号室 119.96m ² 荒川区西日暮里2-411-15	(共用財産) うち公益目的保有財産 78.5% うち収益事業等使用財産 1.5% うち管理目的使用財産 20.0% <建物計>	24,585,670 19,299,753 368,783 4,917,134 24,585,670
	土地	敷地権 持分2,842.60m ² の100万分の8543 荒川区西日暮里2-411-15	(共用財産) うち公益目的保有財産 78.5% うち収益事業等使用財産 1.5% うち管理目的使用財産 20.0% <土地計>	32,749,000 25,707,965 491,235 6,549,800 32,749,000
	研修センター 拡張等積立資産	普通預金・定期預金 みずほ銀行八重洲口支店 三井住友信託銀行新橋支店	(公益目的保有財産) 資産取得資金 (普通預金) 資産取得資金 (定期預金) <特定資産計>	21,000,000 16,000,000 5,000,000 78,334,670
その他の固定資産	建物附属設備	電気設備工事 スティールパーテイーション スライディング遮音ドア	(共用財産) うち公益目的保有財産 80.0% うち管理目的使用財産 20.0% (共用財産) うち公益目的保有財産 80.0% うち管理目的使用財産 20.0% <建物附属設備計>	18,134 14,507 3,627 115,149 92,121 23,028 181,561 145,250 36,311 314,844
	什器備品	会旗 1流 データプロジェクター1台 X線測定器1台 映画用スクリーン1台 壁面収納	(共用財産) うち公益目的保有財産 80.0% うち管理目的使用財産 20.0% (公益目的保有財産) (公益目的保有財産) (公益目的保有財産) (共用財産) うち公益目的保有財産 80.0% うち管理目的使用財産 20.0%	1 1 0 1 1 1 72,185 57,751 14,434

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
什器備品	ロールスクリーン 1台 寄付者名盤 1式 プロジェクター 1台 耐火金庫 プロジェクター 1台 デジタルアンプ 1式 事務用パソコン 1台 事務用パソコン 1台	(共用財産) うち公益目的保有財産 80.0% うち管理目的使用財産 20.0% (共用財産) うち公益目的保有財産 78.5% うち収益事業等使用財産 1.5% うち管理目的使用財産 20.0% (公益目的保有財産) (共用財産) うち公益目的保有財産 80.0% うち管理目的使用財産 20.0% (公益目的保有財産) (公益目的保有財産) (共用財産) うち公益目的保有財産 80.0% うち管理目的使用財産 20.0% (共用財産) うち公益目的保有財産 80.0% うち管理目的使用財産 20.0% <什器備品計> (共用財産) うち公益目的保有財産 80.0% うち管理目的使用財産 20.0% <電話加入権計> (共用財産) うち公益目的保有財産 80.0% うち管理目的使用財産 20.0% <ソフトウェア計> <その他固定資産計>	1 1 0 5,000 3,928 73 999 1 181,379 145,102 36,277 1 1 13,023 10,418 2,605 209,271 167,417 41,854 480,866 10,300 8,240 2,060 10,300 146,880 117,504 29,376 146,880 743,619	
電話加入権	固定電話1件：03-3806-7724			79,287,560 66,769,964 860,091 11,657,505
ソフトウェア	公益会計ソフト			93,851,459
固定資産合計				
資産合計				
(流動負債)	未払金 預り金	(株)大塚商会 事務職員	コピーデバイス 源泉所得税	4,760 8,761
流動負債合計				13,521
固定負債合計				0
負債合計				13,521
正味財産				93,837,938

2022年度監査報告

公益社団法人 東京都診療放射線技師会
会長 江田 哲男 殿

令和5年4月25日

公益社団法人 東京都診療放射線技師会
監事 江田 哲男 殿

公益社団法人 東京都診療放射線技師会
監事 白木 尚

私たち監事は、令和4年4月1日から令和5年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査しました。その方法及び結果について、次のとおり報告します。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上のことに基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討しました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討しました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

第3号議案 定款改正(案)

会員の皆さんにおかれましては、本会事業に対しましてご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

さて今回、定款における事業を修正し、事業の多様化を目的に定款改正を行いたいと考えております。昨今の医療法施行規則の一部改正に伴い、医療機器の安全管理に加え、医療放射線の安全管理を推進することが診療放射線技師に必要な事項として認知されております。これを本会事業に加え、放射線関連医療機器と共に医療放射線の安全管理に関する事業を推進すべく、事業進展を考えております。また、会長及び副会長の業務過多を補いつつ、会務の円滑な遂行を講じたいと考えています。更には、現状の予備代議員選出に対する齟齬、各条項間における誤記が発見されましたので、これらをまとめて修正を行うため、第75回定期総会にて定款改正案として上程させていただきます。

具体的な詳細は、下記の新旧対照表をご参照ください。代議員の皆さんのご理解ご協力をお願い申し上げます。

公益社団法人東京都診療放射線技師会 定款(改正案)	公益社団法人東京都診療放射線技師会 定款	改正理由
(3) 放射線関連機器 <u>及び</u> 診療用放射線 <u>の安全管理</u> を推進する事業	<p>(事業) 第4条 この法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 診療放射線学の向上のための学術及び科学技術の振興、並びに調査研究を目的とする事業(2) 放射線医療及び放射線障害防止に関する啓発普及事業(3) 放射線関連機器の安全管理を推進する事業(4) 医療、公衆衛生に関する関連機関団体との連携協調の促進(5) 前各号の主旨を目的とした学術誌の刊行(6) その他、この法人の目的を達成するために必要な事業 <p>2 前項の事業は、東京都内において行う。</p>	医療放射線の安全管理を推進すべく、事業に追加するため
	<p>第4章 代議員及び予備代議員</p> <p>(代議員及び予備代議員の設置)</p> <p>第12条 第5条の正会員のうち、概ね地区会員30人から1人の割合で選出される代議員をもって法人法上の社員とする。また、端数が15人以下のときは切り捨て、その端数が16人超のときは1人に切り上げることとする。</p> <p>2 代議員が欠けた場合又は代議員の員数を欠くこととなるときに備えて、地区から1人を予備代議員として選出することができる。</p> <p>(代議員及び予備代議員の選出)</p> <p>第13条 代議員及び予備代議員は、正会員による代議員選挙により選出する。</p>	

公益社団法人東京都診療放射線技師会 定款(改正案)	公益社団法人東京都診療放射線技師会 定款	改正理由
<p>6 予備代議員を選挙する場合には、<u>当該候補者が予備の代議員である旨</u>も併せて決定しなければならない。</p> <p>削除</p> <p>削除</p> <p>削除</p> <p>3 理事又は監事を選任する議案を決議するに際しては、各候補者ごとに第1項の決議を行わなければならない。理事又は監事の候補者の合計数が第25条に定める定数を上回る場合には、過半数の賛成を得た候補者の中から得票数の多い順に定数の枠に達するまでの者を選任することとする。</p>	<p>2 代議員及び予備代議員は、正会員の中から選ばれることを要する。正会員は、前項の代議員選挙に立候補することができる。</p> <p>3 第2項の代議員選挙において、正会員は他の正会員と等しく代議員及び予備代議員を選出する権利を有する。</p> <p>4 理事又は理事会は、代議員及び予備代議員を選出することはできない。また、代議員及び予備代議員は、定款第25条に規定する役員を兼ねることはできない。</p> <p>5 第2項の代議員選挙に関する事項は別に定める「代議員及び予備代議員選出規程」による。</p> <p>6 予備代議員を選挙する場合には、次に掲げる事項も併せて決定しなければならない。</p> <p>(1) 当該候補者が予備の代議員である旨</p> <p>(2) 当該候補者を1人又は2人以上の特定の代議員の予備の代議員として選任するときは、その旨及び当該特定の代議員の氏名</p> <p>(3) 同一の代議員(2以上の代議員の予備として選任した場合にあっては、当該2以上の代議員)につき2人以上の予備代議員を選任するときは、当該予備代議員相互間の優先順位</p> <p>(決議)</p> <p>第22条 総会の決議は、出席した当該代議員の議決権の過半数をもって行う。</p> <p>2 前項の規定にかかわらず、次の決議は、総代議員の議決権の3分の2以上に当たる多数をもって行う。</p> <p>(1) 会員の除名</p> <p>(2) 監事の解任</p> <p>(3) 定款の変更</p> <p>(4) 解散</p> <p>(5) その他法令で定められた事項</p> <p>3 理事又は監事を選任する議案を決議するに際しては、各候補者ごとに第1項の決議を行わなければならない。理事又は監事の候補者の合計数が第23条に定める定数を上回る場合には、過半数の賛成を得た候補者の中から得票数の多い順に定数の枠に達するまでの者を選任することとする。</p>	<p>(2)(3)の各号の削除により、第6項に含ませたため 第12条第2項と矛盾のため</p> <p>第12条第2項と矛盾のため</p> <p>条番号の誤記による修正</p>
	<p>第6章 役員</p> <p>(役員の設置)</p> <p>第25条 この法人に、次の役員を置く。</p> <p>(1) 理事 15名以上20名以内</p> <p>(2) 監事 2名以内</p>	

公益社団法人東京都診療放射線技師会 定款(改正案)	公益社団法人東京都診療放射線技師会 定款	改正理由
2 理事のうち1名を会長、3名以内を副会長とし、 <u>副会長を含めて6名以内</u> を業務執行理事とすることができる。	2 理事のうち1名を会長、2名以内を副会長とし、3名を業務執行理事とすることができる。 3 会長をもって法人法上の代表理事とする。 (理事の職務及び権限) 第27条 会長は、法令及びこの定款で定めるところにより、この法人を代表し、その業務を執行する。	副会長の増員と、業務執行権限の付与
第27条 2 副会長は、会長を補佐し、 <u>業務を分担執行</u> する。	2 副会長は、会長を補佐する。 3 業務執行理事は、理事会において別に定めるところにより、この法人の業務を分担執行する。 4 理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款で定めるところにより、職務を執行する。 5 理事は、理事会の目的である事項を示して、理事会の招集を請求することができる。 6 会長及び業務執行理事は、毎事業年度ごとに4ヶ月を超える範囲で2回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告しなければならない。 7 理事會は、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、理事会があらかじめ決定した順序によって、代表権を除く業務を代行する。 (監事の職務及び権限) 第28条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。	業務の分担執行の付与
3 総会及び理事会に出席し、必要があると認めるときは、意見を述べることができる。 4 その他監事に認められた法令上の権限を使用することができる。	2 監事は、いつでも理事及び職員に対して事業の報告を求め、この法人の業務及び財産の状況の調査をすることができる。 3 総会及び理事会に出席し、必要があると認めるときは、意見を述べること。 4 その他監事に認められた法令上の権限を使用すること。	できる条項とするため できる条項とするため
3 理事又は監事は、第25条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有する。	(役員の任期) 第29条 理事及び監事の任期は、選任後2年内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定期総会の終結の時までとする。 2 欠員により補充された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとする。 3 理事又は監事は、第20条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有する。	条番号の誤記による修正

公益社団法人東京都診療放射線技師会 定款(改正案)	公益社団法人東京都診療放射線技師会 定款	改正理由
(2) 第27条第5項に基づく招集の請求 があったとき	<p>(役員の解任) (開催) 第35条 理事会は、次に掲げる場合において開催する。 (1) 会長が必要と認めたとき (2) 第22条第5項に基づく招集の請求 があったとき</p> <p style="text-align: center;">附 則</p> <p>1 この定款は、一般社団法人及び一般財團法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財團法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第106条第1項に定める公益法人設立の登記の日から施行する。</p> <p>2 この法人の最初の会長は篠原健一とする。</p> <p>3 一般社団法人及び一般財團法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財團法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第106条第1項に定める特例民法法人の解散の登記と、公益法人の設立の登記を行ったときは、第36条の規定にかかわらず、解散の登記の日の前日を事業年度の末日とし、設立の登記の日を事業年度の開始日とする。</p> <p>4 平成24年5月26日改正、施行する。</p> <p>5 平成26年6月22日改正、施行する。</p> <p>6 平成29年6月18日改正、施行する。</p> <p>7 令和元年6月14日改正、施行する。</p>	条番号の誤記による修正

8 令和5年6月17日改正、施行する。

附則の追記

ソウル特別市放射線士会学術大会に参加して

医療法人財団大和会 東大和病院 高橋雄大

この度、2023年3月23日から26日に開催された、ソウル特別市放射線士会学術大会（Seoul Radiological Technologists Association Conference）に参加させていただきました。

今回、東京都診療放射線技師会助成演題として採択していただき、「Effect of CT reconstruction function on Workstation creation time」という題名で発表をしました。

東京都診療放射線技師会（TART）とソウル特別市放射線士会（SRTA）は学術交流協定を結んでおり、COVID-19流行後初の現地へ渡航しての発表でした。

私自身初めての海外学会、International sessionでの発表であり、英語でのスライド作りも初めてでした。作成するにあたり特に苦慮したのは、日ごろ、業務で用いている用語が和製英語であるかどうか、使用機器などが海外での発表で伝わるかどうかでした。そのため、海外のさまざまな文献を読み、表現方法などを調べる必要があり、今までの学会発表に加えて多くの時間が必要でした。

学術大会の前日には交流会があり、ソウル特別市放射線士会と参加する各診療放射線技師団体との交歓とギフト交換などを行いました。また、多くのソウル特別市放射線士会の方と拙い英語ながら交流し、ソウル特別市には、3,000床ある病院で300名程

度の診療放射線技師のいる病院があり、私の勤務する病院は300床未満の病院で、20名程度であるため、業務量やその規模の大きさにとても驚きました。診療放射線技師としてのモチベーションと志が高く、いろいろな面で日本との違いもあり、私にとっても交流会は刺激的で、今後の業務への意欲を掻き立てられる機会でした。

学会会場であるCOEXは、コンベンションセンターや貿易センタービル、百貨店、ホテルなどが併設されており、到着してすぐその大きさに圧倒され、発表への緊張が増したのをよく覚えています。会場ではKIMES（Korea International Medical & Hospital Equipment Show）という放射線機器以外の医療機器・器具も含めた総合医療機器・器具展示会が開催されていて、見学をさせていただきました。





日本ではお目にかかれないメーカーなどもあり、美容系の機器が多くあったことは韓国ならではだと思いました。

International Sessionでは、台湾や中国など日本と韓国以外の国からも演題の発表があり、ディープラーニングを用いた小児の骨年齢の評価や、高精細CTの最適線量の評価、散乱線除去処理を使用した線量低減の検討など、さまざまな検討がなされており、考え方や工夫などはとても勉強になりました。私自身の発表も不安がありながらもなんとか終えることができ、発表者同士でも交流することができて、

とてもすばらしい環境で発表を経験させていただきました。

ソウル特別市放射線士会学術大会に参加し、さまざまな国際交流をさせていただいたことは、学術的な部分はもちろんのこと、診療放射線技師としての業務への意欲と今後の発表への大きな刺激となり、今後の更なる成長につなげていきたいと思います。

今回このような貴重な機会をいただき、ご尽力いただいた東京都診療放射線技師会の関係者の皆さん、ソウル特別市放射線士会の皆さん、学会発表に関わっていただいた皆さんに厚く御礼申し上げます。





2023年度 KANTO KOSHINETSU OF RADIOLOGICAL TECHNOLOGIST

関東甲信越診療放射線技師 学術大会

日に新たに また日々新たなり
～心と技術をつなぐ甲斐～

YAMANASHI

会期 2023年 6月24日(土) 25日(日)

会場 山梨大学 甲府キャンパス

【主 催】
公益社団法人 日本診療放射線技師会
一般社団法人 山梨県診療放射線技師会
一般社団法人 栃木県診療放射線技師会
公益社団法人 神奈川県放射線技師会
公益社団法人 茨城県診療放射線技師会
一般社団法人 千葉県診療放射線技師会

【大代表】
宮崎 旨俊
一般社団法人 山梨県診療放射線技師会会长

【実行委員長】**土橋 永**

【実 施】
一般社団法人 山梨県診療放射線技師会


大会専用サイト

中央医療技術専門学校同窓会総会のお知らせ

下記の通り2022年度中央医療技術専門学校同窓会を開催致します。

会員（卒業生・学生）の皆さんにおかれましては、多数ご参加下さいますようご案内申し上げます。

日 時：2023年6月24日（土） 14:00

場 所：総会・講演会 中央医療技術専門学校3号館視聴覚教室

記

I. 2022年度 中央医療技術専門学校同窓会総会 【14:00】

議事

- ・2022年度事業報告
- ・2022年度会計報告
- ・2022年度監査報告
- ・2023年度事業計画（案）
- ・2023年度会計予算（案）
- ・役員改選

II. 教育講演（無料）【14:45】

「AI技術を活用した最新動向」

- ①富士フィルムメディカル株式会社
- ②富士フィルムヘルスケア株式会社

※懇親会は諸般の事情により中止になりました。

ご理解の程お願い申し上げます。

以上

日本医用画像管理学会 セミナー（ハイブリッド開催）のお知らせ

本年度の第1回画像管理セミナーは、「広がるデータ・深まる情報を生かす画像管理とは」をテーマに、より活発な意見交換ができるよう現地参加を併用したハイブリッド開催と致します。

近年では深層学習を使用した画像診断支援ソフトウェアが数多く登場しています。加えて、手術支援画像の利活用も進んできました。画像管理が複雑化する中で、必要とされるソフトウェアの特徴を理解するだけではなく、それらを安定的に運用することが求められます。今回の画像管理セミナーでは、運用事例の紹介に数多く触れることができます。医療情報システムが多様化する時代に、画像管理が担う役割・課題の情報共有を図り、各施設での効果的な運用を考えていただく機会となれば幸いです。

本学会の会員・非会員を問わず、多数の皆さまのご参加をお願い致します。

【主 催】 日本医用画像管理学会（JSMIM）

【日 時】 2023年6月24日（土） 13時15分～16時45分

【開催形態】 ハイブリッド開催 Live配信+国立がん研究センター中央病院

【参 加 費】 JSMIM会員：無料 JSMIM非会員：3,000円（Web参加も同額）

【定 員】 100名 現地参加は申し込み先着順とさせていただきます。

【申込方法】 日本医用画像管理学会ホームページ (<http://www.jsmim.jp>) からお願い致します。

<プログラム>

開会挨拶

日本医用画像管理学会

井原 完有 13:15～13:20

1. AI画像診断支援

①情報提供

プラスマン合同会社 13:20～13:35

②運用事例

医療AI胸部X線画像病変検出システム（CXR-AID）の有用性と今後の課題

東京医科大学病院 吉田 和則 13:35～13:55

画像診断専門クリニックにおけるAI-CAD活用事例

霞クリニック 上田 英弘 13:55～14:15

CXR-AID導入と運用経験報告

広島赤十字・原爆病院 安成 秀人 14:15～14:35

休憩

14:35～14:50

2. 画像手術支援

①情報提供

アミン株式会社 14:50～15:05

②運用事例

CT部門における画像構築体制および院内での運用方法について

東京医科歯科大学病院 羽田 紘人 15:05～15:25

亀田Methodで多角的視点から読み解く 手術支援画像のData Management

亀田総合病院 篠輪 綱平 15:25～15:45

テレワークに伴う3次元画像処理について

国立がん研究センター東病院 吉川友美華 15:45～16:05

検査の価値を高める手術支援とデータ管理

済生会熊本病院 奥村秀一郎 16:05～16:25

3. 質疑応答

16:25～16:40

閉会挨拶

日本医用画像管理学会

加藤 雅士 16:40～16:45
(敬称略)

※プログラムは予告なく変更になる場合があります。

※各種ポイントなどは日本医用画像管理学会ホームページでご確認ください。

日本診療放射線技師連盟 2023 No. 4 ニュース (通巻No.84)

連盟活動報告

発行日 令和5年4月28日
発行所 日本診療放射線技師連盟
〒108-0073 東京都港区三田1-4-28
三田国際ビル22階
TEL.070-3102-1127 FAX.03-6740-1913

- ① 4月10日(月) 根本匠シンポジウムに出席
- ② 4月12日(水) 自由診療振興協議会 設立記念シンポジウムに出席
- ③ 4月25日(火) 第23回 林芳正セミナー・懇親会に出席
- ④ 4月25日(火) 衆議院議員 田村憲久 社会保障勉強会に出席



事務局からのお願い

畠元将吾代議士後援の自民入党は右のQRコードから登録できます。

本連盟の年度は1月から12月となっております。

2021年第2回理事会において、年会費は一律 2,000円となりました。
また、寄付によるご支援も随時受け付けております。

郵便局備え付けの振込取扱票を使用してお振込みの場合

→ 口座記号・口座番号 00100-2-667669

ゆうちょ銀行に直接お振込みの場合

→ 店名(店番):019 当座預金 口座番号:0667669 加入者名 日本診療放射線技師連盟



会員動向

2023年4月期

年 月	月末会員数	新 入	転 入	転 出	退 会
2022年度末集計	2,448	210	38	31	90
2023年 4月	2,477	26	8	3	2

光製薬の造影剤

处方箋医薬品
非イオン性造影剤 薬価基準収載

イオヘキソール300注シリンジ50mL/80mL/100mL/110mL/125mL/150mL(HK)
イオヘキソール350注シリンジ70mL/100mL(HK)

(日本薬局方 イオヘキソール注射液)

イオバミドール300注シリンジ50mL/80mL/100mL (HK)
イオバミドール370注シリンジ50mL/65mL/80mL/100mL (HK)

(日本薬局方 イオバミドール注射液)

ガドリードール静注シリンジ
ガドリードール静注シリンジ13mL(HK)
ガドリードール静注シリンジ17mL(HK)

(ガドリードール注射液)

注) 注意—医師等の処方箋により使用すること

効能・効果、用法・用量、警告・禁忌を含む使用上の注意等については添付文書をご参照ください。

<https://www.hikari-pharm.co.jp>

光製薬株式会社
(文献請求先及び問い合わせ先) 医薬情報部

Tel 111-0024 東京都台東区今戸2-11-15
TEL 03(3874)9351 FAX 03(3871)2419

2021年1月作成

News

6月号

会長挨拶

本日もご参集いただき感謝する。本年度も皆さまと共に、公益性を持った事業ならびに診療放射線技師の知識を高めていく形で臨んでいきたいと思う。本日も皆さまの意見を頂戴しながら実りある議論を行っていきたいと思う。よろしくお願ひする。

理事会定数確認

出席：17名、欠席：0名

前回議事録確認

前回議事録について確認を行ったが修正意見はなかった。

報告事項

1) 江田哲男 会長

・活動報告書に追加なし。

3月末に本会からソウル特別市放射線士会主催の学術大会へ第12地区の内藤先生を含めて4名の会員の方々が参加した。内藤先生には本会代表としてもご対応いただきましたことを深く感謝申し上げる。大変ありがとうございます。尚、こちらの大会参加報告については、会誌にて掲載を予定していることを報告する。

2) 副会長

関 真一 副会長

・活動報告書に追加なし。

日 時：2023年4月6日（木）
午後7時00分～7時50分

場 所：インターネット回線上

出席理事：江田哲男、野口幸作、関 真一、鈴木雄一、宇津野俊充、浅沼雅康、高野修彰、竹安直行、市川篤志、小林隆幸、長谷川雅一、渡辺靖志、原子 満、鮎川幸司、関谷 薫、増田祥代、布川嘉信

出席監事：野田扇三郎、白木 尚

指名出席者：島田 諭（第2地区委員長）、上田万珠代（第4地区委員長）、中田健太（第5地区委員長）、伊佐理嘉（第6地区委員長）、富丸佳一（第7地区委員長）、大津元春（第8地区委員長）、澤田恒久（第10地区委員長）、名古安伸（第11地区委員長）、宮谷勝巳（第14地区委員長）、小野賢太（総務委員）、青木 淳（総務委員）

欠席理事：なし

欠席監事：なし

議 長：江田哲男（会長）

司 会：関 真一（副会長）

議事録作成：青木 淳

野口幸作 副会長

・活動報告書に追加なし。

3) 業務執行理事

総務：鈴木雄一 理事

・活動報告書に追加なし。

庶務：宇津野俊充 理事

・活動報告書に追加なし。

4) 専門部委員会報告

・活動報告書に追加なし。

5) 各委員会報告

・活動報告書に追加なし。

6) 地区委員会報告

・活動報告書に追加なし。

7) その他

・特になし。

議 事

1) 事業申請について

①第21回看護フェスタ

テーマ：都民への放射線医療や放射線に関する正しい知識の普及・啓発活動

パネル展示・乳腺ファントム触診体験・放射線検査説明・医療被ばく相談

日 時：2023年5月13日（土）12:00～16:00

場 所：東京都看護協会会館

【承認：17名、保留：0名、否認：0名】

②第71回きめこまかな生涯教育

テーマ：放射線計測の研究に必要な不確かさの考え方
—基礎から実践—

日 時：2023年7月1日（土）15:00～17:00

場 所：東京都診療放射線技師会研修センター

【承認：17名、保留：0名、否認：0名】

③第1地区研修会（ハイブリッド開催）

テーマ：AltivityによるCTとMRIの進化

日 時：2023年6月28日（水）19:00～19:45

場 所：東京都診療放射線技師会 研修センター

・参加費と開催方法については地区委員会で再検討後に報告を受けるものとした。

（4/11に参加費無料およびWeb開催の報告がされた）

【承認：17名、保留：0名、否認：0名】

2) 定款改正案について

野口幸作 副会長：

かねてから、定款の事業（3）の放射線関連機器の安全管理を推進する事業という部分が現状と合っていない。元々こちらは、医療機器安全管理責任者の講習会を進めていく事業の中に入っていたが、なかなかそれに見合った事業を行うことができていない部分があり、総務委員の方でも事業を報告するにあたり四苦八苦している部分があった。こちらに関して訂正・追加をして定款の事業の内容変更を運営幹事会で提案させていただき、定款諸規程等検討委員会で議論をし、専門部、本日の理事会という形で順を追って進めている。これを改正するには東京都の認可が必要である。認可をいただくために、追加する事業に改正案を入れ込むと変更届出で済む部分があるので、それを踏まえて議論をしたい。また、定款であるため総会承認が必要になる。齟齬がある部分等を検討して修正案として資料を提出した。

まず、事業の第4条第3号の“放射線関連機器の安全管理を推進する事業”という部分を、定款諸規程等検討委員会では、以下の2案を提案させていただいた。

①放射線関連機器及び診療用放射線の安全管理を推進する事業

②放射線関連機器等の安全管理を推進する事業

定款諸規程等検討委員会では、上記両方を提起して専門部委員会・理事会に委ねるという流れになつてるので、検討させていただきたい。

第13条の予備代議員の部分に関して、現状では地

区に対して1名の予備代議員という形になっているが、定款上では2名以上という部分や、誰の代議員の予備代議員か明記しなければならない、ことが現状と合わないので修正をしようと考えている。第1号を第6項に入れ込み、元の第1号、第2号、第3号を削除する。

第22条第3号では、“第23条”を“第25条”に修正する。

第25条の第2号では、現状、副会長は2名以内、3名を業務執行理事という形になっているが、現在、副会長の業務が過多であるため、“2名以内”から“3名以内”に修正し、“副会長を含めて6名以内を業務執行理事とすることができる”という文言に修正をする。

第27条第2号では、“業務を分担執行”する、という追加修正をする。

第28条第3号では、“意見を述べること”を“意見を述べることができる”、第4号では、“行使すること”を“行使することができる”という文言に修正する。

第29条では、条項の“第20条”を“第25条”に修正する。

第35条では、条項の“第22条”を“第27条”に修正する。

最後に、総会での承認が必要なため、付則に改正の更新日を追加する。

第4条第3号は、“放射線関連機器及び診療用放射線の安全管理を推進する事業”という文言に修正することとする。

上記について審議した。

【承認：17名、保留：0名、否認：0名】

3) 総会表彰者について

高野修彰 渉外委員長：

特別功労賞4名、功労賞2名、小野賞2名、労働精励賞17名、学術奨励賞1名、新人奨励賞2名の候補者について3月の表彰委員会で基準を満たしていることを確認した。

上記について審議した。

【承認：17名、保留：0名、否認：0名】

4) 後援名義申請について

鈴木雄一 総務委員長：

2023年6月10日（土）より開催される第21回マルチモダリティシンポジウムVERSUSの後援名義申請をいただいた。

上記について審議した。

【承認：17名、保留：0名、否認：0名】

5) 新入退会について

3月：新入会2名、転入8名、転出4名、退会31名、
滞納退会18名

【承認：17名、保留：0名、否認：0名】

6) 委員新任変更申請について

鈴木雄一 総務委員長：

地区、専門部の各委員の新任変更・退任の連絡をいただき、確認を行ったので審議をいただきたい。
上記について審議した。

【承認：17名、保留：0名、否認：0名】

地区質問、意見

・今回は特になかった。

連絡事項

江田哲男 会長：

昨年度に入会促進委員会が発足した。本委員会の事業を進めるにあたって至急委員を選出する必要がある。執行部としては各支部から2名ずつ(支部長+1名)、計10名を選出していただきたい。オブザーバーとして、担当理事を1名配置したいと考えている。皆さまには4月25日までに委員を選出していただき、各支部長から鈴木総務委員長へ委員推薦者をご報告していただきたい。5月の理事会で承認を行いたいと考えている。皆さまのご協力をお願いする。

高野修彰 渉外委員長：

委員の任期はどれくらいなのか。

江田哲男 会長：

1年間の任期と考えている。入会促進に関して、委員会だけでなく役員関係者全員で取り組んでいきたい事業と考えている。皆さまのご協力をお願いする。

もう一点、国際委員会の募集に関して述べさせていただきたい。理事会冒頭にSRTAの話題が出たが、本会はソウル特別市放射線士会と学術協定を結んでおり、国際委員会は設けてはいるが委員は不在の状況で

あった。皆さまの地区で、英語や海外との交流に興味がある方は私までご一報いただけると幸いである。国際委員会選出の期限は現在考えていない。こちらも皆さまのご協力をお願いしたい。

野口幸作 副会長：

皆さんに情報共有する形になるが、5月27、28日に告示研修を南部労政会館で行う。運営メールで申し込み開始期日を案内するので、皆さまの自施設や地区委員会などで広報していただきたい。

江田哲男 会長：

関東甲信越診療放射線技師学術大会が6月24、25日に山梨県で開催される。演題募集の締め切りは過ぎているが、参加登録は行っているのでぜひ皆さまのご参加をお願いしたい。

鮎川幸司 第13地区委員長：

今月号の会誌にフレッシャーズセミナーの申し込みが記載されていたが、講師に関して地区委員会に既に連絡はあったのか。

浅沼雅康 編集委員長：

例年、フレッシャーズセミナーは4月号の会誌にまち日程を記載している。講師の選定に関しては現在学術、教育委員会で進めていると思われる。講師などの詳細は来月以降の会誌に掲載する。

小林隆幸 教育委員長：

今週末にフレッシャーズセミナーの講師依頼のメールを送付する。今しばらくお待ちいただきたい。

今後の予定について（総務委員会）

鈴木雄一 総務委員長：

期末監査が4月25日に行われる。昨年度の事業は全て終了したので、事業報告書等は全て提出したと思われるが、総務委員会で確認作業を進めている。もし、未提出の報告書等があった場合はご連絡をさせていただくので、ご協力をお願いしたい。

以上

学術講演会・研修会等の開催予定

日時や会場等の詳細につきましては、会誌及びホームページでご案内しますので必ず確認してください。

2023年度

1. 学術研修会

☆第21回サマーセミナー	2023年8月26日(土)
第23回メディカルマネジメント研修会	未定
☆第21回ウインターセミナー	未定

2. 生涯教育

第71回きめこまかな生涯教育	2023年7月1日(土)
----------------	--------------

☆3. 日暮里塾ワンコインセミナー

第146回日暮里塾ワンコインセミナー(フレッシャーズセミナー合同開催) Web開催

2023年6月4日(日)

☆4. 第23回東放技・東京支部合同学術講演会

未定

5. 集中講習会

第13回MRI集中講習会	未定
--------------	----

☆6. 支部研修会

城東支部研修会 Web開催	2023年8月23日(水)
---------------	---------------

城西・城南・城北・多摩支部研修会	未定
------------------	----

7. 地区研修会

第1地区研修会 Web開催	2023年6月28日(水)
---------------	---------------

第8地区研修会	2023年9月8日(金)
---------	--------------

8. 専門部委員会研修会

第18回ペイシェントケア学術大会	未定
------------------	----

SR推進委員会研修会	未定
------------	----

9. 地球環境保全活動

荒川河川敷清掃活動	未定
-----------	----

10. 東放技参加 行政祭り等

未定

◆2023年度関東甲信越診療放射線技師学術大会

2023年6月24日(土)～25日(日)

◆第39回日本診療放射線技師学術大会

2023年9月29日(金)～10月1日(日)

☆印は新卒かつ新入会 無料招待企画です。

(新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう)

Postscript

最 近、猫を飼い始めました。最終的な決め手は、息子がふと言った「留守番中、一人だと寂しい」の一言でした。共働きで昼間家にいない時間があり、息子は寂しく感じていたようです。猫が来てからは留守番も寂しくないようで、人懐っこい猫でいつもくつついでゴロゴロと言っています。やはり動物は癒しだなあといつも話します。

ですが、いくつかの問題行動があり、それは悩みの種です。その一つが噛み癖です。甘噛みがほとんどで本気噛みはあまりないのですが、手足だけでなく顔を噛むことがあります。ネットで調べると猫は元々狩猟動物で本能的に噛むことは当たり前のように、それ以外にも噛む要因として、触りすぎて不快に感じている、遊び足りない、歯がかゆい、ストレスを感じてる、甘えたいなど、さまざまな理由があるそうです。言葉は通じないです、一緒にいるとなんとなく思い

当たる節もあります。最近は遊んであげられてなかったり、うちの猫は食いしん坊なのでお腹が空いた時とか、ケージの外に出られずストレスが溜まっている時などは嘔んでくる頻度が多いような気もします。當時は可愛いことも多く、子供達も喜んでいますので、猫とのコミュニケーションや対話を増やして、なんとか改善を目標に気長に対応していくしかないのかなと思う今日この頃です。

B.F.S



■ 広告掲載社

富士フィルムメディカル(株)
コニカミノルタジャパン(株)
キヤノンメディカルシステムズ(株)
光製薬(株)
GEヘルスケアファーマ(株)

東京放射線 第70巻 第6号

令和5年5月25日 印刷（毎月1回1日発行）

令和5年6月1日 発行

発行所 東京都荒川区西日暮里二丁目22番1 ステーションプラザタワー505号
〒116-0013 公益社団法人東京都診療放射線技師会

発行人 公益社団法人東京都診療放射線技師会

会長 江田哲男

振替口座 00190-0-112644

電話 東京（03）3806-7724 <https://www.tart.jp/>

印刷・製本 株式会社キタジマ

事務所 執務時間 月曜～金曜 8時30分～16時00分

案内 ただし土曜・日曜・祝日および12月29日～1月4日は執務いたしません

TEL・FAX (03) 3806-7724

編集スタッフ

浅沼雅康

岩井譜憲

森 美加

高橋克行

田沼征一